

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representation of
The original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 9月 6日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-269821

[ST.10/C]:

[JP2001-269821]

出 願 人

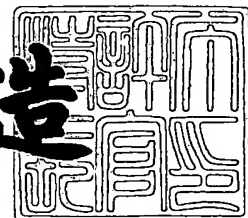
Applicant(s):

株式会社日立製作所

2002年 2月26日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2002-3011192

【書類名】 特許願

【整理番号】 KP-0001635

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 7/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地 株式会社 日立製作所内

 【氏名】 吉岡 達夫

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地 株式会社 日立製作所内

 【氏名】 伊藤 彰朗

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市幸区鹿島田 8 9 0 番地 株式会社 日立製作所 ビジネスソリューション開発本部内

 【氏名】 梅澤 知弘

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市幸区鹿島田 8 9 0 番地 株式会社 日立製作所 金融システム事業部内

 【氏名】 二村 潤

【特許出願人】

 【識別番号】 000005108

 【氏名又は名称】 株式会社 日立製作所

【代理人】

 【識別番号】 100075959

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 小林 保

 【電話番号】 (03)3864-1448

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2001- 89178

【出願日】 平成13年 3月27日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 016207

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0003946

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明 細 書

【発明の名称】 自動車保険の内容設定システム、自動車保険の料金設定システム、及び自動車保険の料金徴収システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、前記保険加入者の運転能力の提示を求め、前記保険加入者から提示された運転能力を算定評価し、前記保険加入者の特定する保険の対象項目と保険の補償内容でなされた保険加入申込に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転能力に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定を行うことを特徴とする自動車保険の内容設定システム。

【請求項 2】 保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて加入申込保険内容を保険加入者データベースに登録処理し、前記保険加入者に対し当該保険加入者の運転能力の提示を要求する処理を行い、前記保険加入者からの当該保険加入者の運転能力の提示を受けて前記保険加入者データベースに登録処理し、前記提示を受けた前記保険加入者からの運転能力の算定評価を行う処理をし、前記保険加入者の運転能力の算定評価を前記保険加入者データベースに登録処理し、前記保険加入者データベースに登録処理した申込自動車保険の保険内容に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転能力に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定し前記保険加入者データベースに登録処理し、前記算定した保険料を前記保険加入者に対して提示する処理を行い、前記保険加入者からの前記保険の加入申込に基づいて前記保険加入者へ前記保険加入者データベースに登録処理されている保険料の請求処理を行い、前記保険加入者の前記保険料の支払に基づき前記加入保険の契約の成立を前記保険加入者データベースに登録処理することを特徴とする自動車保険の内容設定システム。

【請求項 3】 前記保険加入者の運転能力は、保険加入者の運転歴である請求項 1 又は 2 に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項 4】 前記保険加入者の運転能力は、保険加入者の違反歴である請

求項1又は2に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項5】 前記保険加入者の運転能力は、保険加入者の事故歴である請求項1又は2に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項6】 前記保険加入者の運転能力は、保険加入者の総走行距離である請求項1又は2に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項7】 保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、前記保険加入者の運転条件の提示を求め、前記保険加入者から提示された運転条件を算定評価し、前記保険加入者の特定する保険の対象項目と保険の補償内容でなされた保険加入申込に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転条件に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定を行うことを特徴とする自動車保険の内容設定システム。

【請求項8】 保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて加入申込保険内容を保険加入者データベースに登録処理し、前記保険加入者に対し当該保険加入者の運転条件の提示を要求する処理を行い、前記保険加入者からの当該保険加入者の運転条件の提示を受けて前記保険加入者データベースに登録処理し、前記提示を受けた前記保険加入者からの運転条件の算定評価を行う処理をし、前記保険加入者の運転条件の算定評価を前記保険加入者データベースに登録処理し、前記保険加入者データベースに登録処理した申込自動車保険の保険内容に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転条件に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定し前記保険加入者データベースに登録処理し、前記算定した保険料を前記保険加入者に対して提示する処理を行い、前記保険加入者からの前記保険の加入申込に基づいて前記保険加入者へ前記保険加入者データベースに登録処理されている保険料の請求処理を行い、前記保険加入者の前記保険料の支払に基づき前記加入保険の契約の成立を前記保険加入者データベースに登録処理することを特徴とする自動車保険の内容設定システム。

【請求項9】 前記保険加入者の運転条件は、保険加入者の運転が夜間専業である請求項7又は8に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項10】 前記保険加入者の運転条件は、保険加入者の乗車する車両

の整備状態の良否である請求項7又は8に記載の自動車保険の内容設定システム

【請求項11】 前記保険加入者の運転条件は、保険加入者の乗車する車両のエンジントラブル発生回数である請求項7又は8に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項12】 前記保険加入者の運転条件は、保険加入者の乗車する車両の修理回数である請求項7又は8に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項13】 前記保険加入者の運転条件は、保険加入者の走行する地域が限定されたものである請求項7又は8に記載の自動車保険の内容設定システム

【請求項14】 前記保険加入者の運転条件は、保険加入者の運転が通勤用か否かである請求項7又は8に記載の自動車保険の内容設定システム。

【請求項15】 保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、前記保険の補償内容によって一律に決定される基本保険料を算定し、前記保険加入者の運転能力の提示を求め、前記保険加入者から提示された運転能力を基に加算保険料を算定して、前記基本保険料と前記加算保険料を合算して支払保険料として一旦徴収し、前記予め保険加入者から提示された運転能力を基準に提示内容に違反して運転した場合の運転能力ポイントと、予め提示した安全運転基準に違反した違反行為があった場合の安全運転ポイントとを算定して、前記運転能力ポイントと安全運転ポイントを合算した減点ポイントに相当する料金を前記加算保険料として積算し、保険満了時に精算するようにしたことを特徴とする自動車保険の料金設定システム。

【請求項16】 保険加入者が自動車保険の内容データベースに格納されている保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて加入申込保険内容を保険加入者データベースに登録処理し、前記保険の補償内容によって一律に決定される基本保険料を算定し前記保険加入者データベース登録処理し、前記保険加入者の運転能力の提示に基づき申告した運転能力から加算保険料を算定して保険加入者データベースに登録処理し、前記基本保険料と前記加算保険料を合算して支払保険料として一旦徴収して支払保険

料データベースに登録処理し、前記予め保険加入者から提示された運転能力を基準に提示内容に違反して運転した場合の運転能力ポイントと、予め提示した安全運転基準に違反した違反行為があった場合の安全運転ポイントとを運転能力・安全運転判定データベースに格納されている判定基準にしたがって算定し保険加入者データベースに登録処理し、前記運転能力ポイントと安全運転ポイントを合算した減点ポイントに相当する料金を前記加算保険料として積算し保険加入者データベースに登録処理し、保険満了時に精算するようにしたことを特徴とする自動車保険の料金設定システム。

【請求項 1 7】 保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、前記保険の補償内容によって一律に決定される基本保険料を算定し、前記保険加入者の運転能力の提示を求め、前記保険加入者から提示された運転能力を基に加算保険料を算定して、前記基本保険料を徴収すると共に前記加算保険料を精算預かり金とする支払保険料を徴収し、前記予め保険加入者から提示された運転能力を基準に提示内容に違反して運転した場合の運転能力ポイントと、予め提示した安全運転基準に違反した違反行為があった場合の安全運転ポイントとを定期的に算定し、前記運転能力ポイントと安全運転ポイントを合算した減点ポイントに相当する料金を前記加算保険料として定期的に減算するようにしたことを特徴とする自動車保険の料金設定システム。

【請求項 1 8】 保険加入者が自動車保険の内容データベースに格納されている保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて加入申込保険内容を保険加入者データベースに登録処理し、前記保険の補償内容によって一律に決定される基本保険料を算定し前記保険加入者データベース登録処理し、前記保険加入者の運転能力の提示に基づき申告した運転能力から加算保険料を算定して保険加入者データベースに登録処理し、前記基本保険料を徴収すると共に前記加算保険料を精算預かり金とする支払保険料を徴収して支払保険料データベースに登録処理し、前記予め保険加入者から提示された運転能力を基準に提示内容に違反して運転した場合の運転能力ポイントと、予め提示した安全運転基準に違反した違反行為があった場合の安全運転ポイントとを運転能力・安全運転判定データベースに格納されている判定基準にしたがっ

て定期的に算定し保険加入者データベースに登録処理し、前記運転能力ポイントと安全運転ポイントを合算した減点ポイントに相当する料金を前記加算保険料として定期的に積算し保険加入者データベースに登録処理するようにしたことを特徴とする自動車保険の料金設定システム。

【請求項 19】 前記運転能力ポイントは、スピード違反、急ブレーキ使用、急ハンドル使用、急加速、蛇行運転についてである請求項 15、16、17又は18に記載の自動車保険の料金設定システム。

【請求項 20】 前記安全運転ポイントは、事故、交通違反、定期点検不実施、長時間連続運転についてである請求項 15、16、17、18又は19に記載の自動車保険の料金設定システム。

【請求項 21】 保険加入者が特定した保険の対象項目と保険の補償内容とによって決定する基本保険料に前記保険加入者が予め提示する運転能力に基づいて算定して決定する加算保険料を加算して支払保険料として徴収し、前記予め保険加入者から提示された運転能力を基準に提示内容に違反することによって発生する保険料と予め提示した安全運転基準に違反した違反行為が有ったことによって発生する保険料を積算し、保険満了時に保険加入時に徴収した支払保険料の加算保険料として基本保険料に加算して精算するようにしたことを特徴とする自動車保険の料金徴収システム。

【請求項 22】 保険加入者が特定した保険の対象項目と保険の補償内容とによって決定する基本保険料を徴収し、前記保険加入者から提示された運転能力に基づいて加算保険料を算定し精算預かり金として徴収し、前記予め保険加入者から提示された運転能力を基準に提示内容に違反することによって発生する保険料と予め提示した安全運転基準に違反した行為によって発生する保険料を積算し、定期的に前記精算預かり金として徴収した加算保険料から徴収するようにしたことを特徴とする自動車保険の料金設定システム。

【請求項 23】 保険加入者が特定した保険の対象項目と保険の補償内容とによって決定する基本保険料を徴収し、前記保険加入者から提示された運転能力に基づいて加算保険料を算定し精算預かり金として徴収し、前記予め保険加入者から提示された運転能力を基準に提示内容を遵守し、予め提示した安全運転基準

を満足して運転したときに安全運転ポイントを付与するようにしたことを特徴とする自動車保険の料金設定システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、自動車保険システムに係り、特に保険料の算定を保険加入者の運転能力、保険加入者の運転条件を評価して行う自動車保険の内容設定システム、自動車保険の料金設定システム、及び自動車保険の料金徴収システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

自動車を運転する者は、自己が所有する自動車に対して対人保険、対物保険、自賠責保険、損害保険に加入して、万一の災害に備えている。これらの保険の内、強制保険は、自動車の車検の際に掛けており、対人賠償保険、対物賠償保険、車両保険等の任意保険は、1年毎に掛けている。また、これらの保険は、多くが保険の掛け金（支払保険料）が安いところから掛け捨てとなっている。

【0003】

そして、自動車保険を掛ける際に支払う保険料は、無事故・無違反のときの保険料の軽減のみで、保険の内容等によって変化するものではなく一定したものとなっている。さらに、自動車保険の料金の徴収についても掛け捨てとなっている関係から一括徴収となっている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

このような自動車保険は、自動車を単位として一定期間、特定の料率で算定された事故加算、無事故減算の処理を行って保険加入者に行われている。そして、新車を購入して新たに自動車保険に加入する場合、或いは、保険会社を変更して新たに自動車保険に加入する場合、過去の保険加入者の個人評価を行うことなく自動車保険の保険料の設定がなされている。

しかしながら、自動車保険は、現実には事故が生じた際に必要なもので、事故が生じない限り不要なものである。また、保険加入者で好き好んで事故を起こす者

は、いない。また、自動車での事故を多く起こしている者、スピードを常時出す癖のある者、急ブレーキの回数が異常に多い者とう運転の仕方には、まちまちである。また、自動車を通勤用として利用する者、自動車を営業用として利用する者、自動車の運転は夜間だけに限られる者、自動車の運転は農道のような交通量が極端に少ない場所で行う場合等、いろいろある。このような自動車の運転条件がまちまちであるのにも拘わらず、自動車に掛けた保険に対する保険料は何れも同じ査定となっている。

【0005】

さらに、実際の自動車保険の実行率を見ても、運転能力の高い者は、事故を起こす率が低く、運転条件の緩い場合も事故発生率が低いのが現実である。したがって、自動車の事故発生率は、運転者の運転能力の低い者、運転条件が厳しい場合に高く、自動車保険の実行率も同様な結果になっている。このことから、従来の自動車保険の加入に際し、自動車保険の保険料の設定に当たっては、一律に保険料の設定を行うのは公平性に欠けるという問題があった。

【0006】

さらにまた、自動車保険の料金の徴収は、一括徴収となっているため、運転能力別、安全運転実行率に対応した保険料の徴収が難しいという問題があった。

【0007】

本発明の1つの目的は、保険加入者の運転能力に応じて適正な保険内容を設定し、保険加入者の運転能力に応じた適正な保険料を設定することのできる自動車保険の内容設定システムを提供することにある。

【0008】

本発明の他の1つの目的は、保険加入者の乗車する車両の運転条件に応じて適正な保険内容を設定し、保険加入者の乗車する車両の運転条件に応じた適正な保険料を設定することのできる自動車保険の内容設定システムを提供することにある。

【0009】

本発明の他の1つの目的は、保険加入者の乗車する車両の運転状況に応じて適正な保険料を設定することのできる自動車保険の料金設定システムを提供するこ

とにある。

【0010】

本発明のさらに他の1つの目的は、保険加入者の乗車する車両の運転状況に応じて適正に保険料の徴収を行うことのできる自動車保険の料金徴収システムを提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】

本発明の1つの特徴は、保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、前記保険加入者の運転能力の提示を求め、前記保険加入者から提示された運転能力を算定評価し、前記保険加入者の特定する保険の対象項目と保険の補償内容でなされた保険加入申込に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転能力に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定を行うようにしたことにある。

【0012】

本発明の他の1つの特徴は、保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、前記保険加入者の運転条件の提示を求め、前記保険加入者から提示された運転条件を算定評価し、前記保険加入者の特定する保険の対象項目と保険の補償内容でなされた保険加入申込に基づいて前記算定評価した前記保険加入者の運転条件に応じて当該自動車保険に対して保険料の算定を行うようにしたことにある。

【0013】

本発明の他の1つの特徴は、保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、保険の補償内容によって一律に決定される基本保険料を算定し、保険加入者から提示された運転能力を基に加算保険料を算定して、基本保険料と加算保険料を合算して支払保険料として一旦徴収し、予め保険加入者から提示された運転能力を基準に提示内容に違反して運転した場合の運転能力ポイントと、予め提示した安全運転基準に違反した違反行為があった場合の安全運転ポイントとを算定して、運転能力ポイントと安全運転ポイントを合算した減点ポイントに相当する料金を加算保険料として積算し、

保険満了時に精算するようにしたことにある。

【0014】

本発明のさらに他の1つの特徴は、保険加入者が特定した保険の対象項目と保険の補償内容とによって決定する基本保険料に保険加入者が予め提示する運転能力に基づいて算定して決定する加算保険料を加算して支払保険料として徴収し、予め保険加入者から提示された運転能力を基準に提示内容に違反することによって発生する保険料と予め提示した安全運転基準に違反した違反行為が有ったことによって発生する保険料を積算し、保険満了時に保険加入時に徴収した支払保険料の加算保険料として基本保険料に加算して精算するようにしたことにある。

【0015】

【発明の実施の形態】

図1は、自動車保険の内容設定システムを実施するための全体構成および情報の送受信関係を示し、図2に、自動車保険の内容設定システムの一実施の形態を示す。

【0016】

図において、保険サービス提供会社20は、保険利用者30に保険契約サービスを行っている。また、保険サービス提供会社20は、保険利用者30に提供を行う保険に関して保険会社10と事業契約を行っている。

【0017】

このような保険会社10は、保険のための情報を保険サービス提供会社20に送る。この送り方として、公衆回線を利用しても良い。また衛星を使用してもよい。一例として保険会社10から保険サービス提供会社20に保険に関する情報を簡単に送信する方法として回線2を使用して保険会社10から提供可能な保険に関する情報を衛星を利用した通信中継媒体5に送り、保険に関する情報を受信した通信回線5から回線3を経由して保険サービス提供会社20に送る方法がある。この保険会社10は、上述の通り、保険サービス提供会社20と契約によって保険商品を提供するようになっている。

【0018】

保険会社10から保険商品の提供を受けた保険サービス提供会社20は、保険

利用者30の要求に基づき希望する保険商品を、回線3を使用して通信中継媒体（例えば、衛星）5に送り、保険利用者30の要求に基づく保険商品を受信した通信中継媒体（例えば、衛星）5から回線6を経由して、例えば保険利用者30が所有するPC31あるいは自動車の車載機器32、携帯端末33等にする。この自動車の車載機器32は、複数のGPS衛星からの電波を受けて自動車の位置を求め、この求めた位置情報を回線6、通信中継媒体（例えば、衛星）5、回線3を介して保険サービス提供会社20と交信を行うことにより保険サービス提供会社20に伝える。

【0019】

この保険サービス提供会社20は、図29に示す如き構成の処理装置を有している。すなわち、処理装置21は、CPU22を有しており、このCPU22によってあらゆる演算が行われる。このCPU22には、バスラインを介してマンマシンインターフェース23が、また、バスラインを介して各種データベースである記憶装置が接続されている。このマンマシンインターフェース23は、処理装置21の処理（データの書き込み、読み出し等）を行うものである。24は、アンテナで、保険利用者30が所有するPC31あるいは自動車の車載機器32、携帯端末33等や、保険会社10と通信事業者50を介して交信を行うためのものである。また、記憶装置には、会員のデータベース71、保険加入者データベース72、自動車保険の内容データベース73、プローブ情報（道路情報）データベース74、支払保険料データベース75、運転能力・安全運転判定データベース76、データメモリエリア77がある。

【0020】

会員のデータベース71は、自動車保険サービスの提供を受ける会員（保険加入者）の個人データをデータベース化して収納するもので、この会員のデータベース71には、個人の氏名、年令、職業、生年月日、免許証取得年月日、車両情報、事故歴、交通違反歴、家族構成、連絡先等が記憶されている。

【0021】

また、保険加入者データベース72は、会員の中で、自動車保険に加入した会員をデータベース化して収納するもので、この保険加入者データベース72には

、加入した保険の対象項目（対人賠償、対物賠償、自己賠償、同乗者賠償、運転者特定、運転者年令制限）、加入した保険の補償内容（無制限、〇〇〇〇万円まで、本人のみ、30歳以上）、基本保険料額、加算保険料額、支払保険料額、運転能力ポイント・安全運転ポイントの単位ポイント当り保険料額等が記憶されている。

【0022】

また、自動車保険の内容データベース73は、会員が加入する自動車保険の内容をデータベース化して収納したもので、この自動車保険の内容データベース73には、保険の対象項目（対人賠償、対物賠償、自己賠償、同乗者賠償、運転者特定、運転者年令制限）、保険の補償内容（無制限、〇〇〇〇万円まで、本人のみ、30歳以上）、基本保険料額、加算保険料額、支払保険料額、運転能力ポイント・安全運転ポイントの単位ポイント当り保険料額が記憶されている。

【0023】

プローブ情報（道路情報）データベース74は、車両を走行させる道路の情報（非舗装道路、登坂路、蛇行路等）、路面の情報（砂利道、凍結等）をデータベース化して収納するものである。

【0024】

また、支払保険料データベース75は、自動車保険に加入した会員が支払った支払保険料をデータベース化して収納するもので、この支払保険料データベース75には、自動車保険に加入した会員が支払った基本保険料、自動車保険に加入した会員が支払った加算保険料額、自動車保険に加入した会員が支払った総支払保険料がある。

【0025】

さらに、運転能力・安全運転判定データベース76は、運転能力（スピード違反、急ブレーキ使用、急ハンドル使用、急加速、蛇行運転）を判定して運転能力ポイントとして加算保険料に加算又は減算する判定基準をデータベース化して収納すると共に、安全運転（事故、交通違反、定期点検不実施、長時間連続運転）を判定して安全運転ポイントとして加算保険料に加算又は減算する判定基準をデータベース化して収納するものである。

【0026】

またさらに、データメモリエリア77は、自動車保険に加入する会員（保険利用者）30が所有するPC31あるいは自動車の車載機器32、携帯端末33等から送信されてくる各情報を一時記憶しておくものである。

【0027】

図2において、保険サービス提供会社20は、保険会社10との交信、保険利用者30（車載機器40）との交信にあたって、通信事業者50の公衆回線、衛星等を利用するため、通信事業者50と事業契約を締結する（100）。さらに、保険サービス提供会社20は、保険会社10と保険商品の提供に関する事業契約を行う（102）。

【0028】

また、保険サービス提供会社20は、保険会社10が提供する自動車保険に加入を希望する者から自動車保険の会員の申込を受理する（104）。この保険利用会員の自動車保険の会員申込があると、保険サービス提供会社20は、会員申込者の必要な個人データを記録して保険利用会員の会員登録処理を行い、会員番号である認証番号（IDコード番号）を特定し、会員証としてのカード（例えば、IDカード、又はカードにICチップが埋め込まれ入力される情報と入力された情報を読み出すことのできるICカード）を作成し（106）、保険申込者に会員登録通知（例えば、IDカードを発行して）を行う（108）。このカードは、ここではICカードとして説明したが、IDカード、ICカード、マルチカード等の会員を特定する個人情報、利用情報が記憶できる媒体で、持ち運びが便利な形態をしたものであれば、どのようなものでもよい。

【0029】

このようにして登録された保険利用会員30は、随時、保険サービス提供会社20に対して自動車保険の保険加入の申込を行うことができ、自動車保険の保険加入の申込に当たっては、自動車保険加入申込を行う（110）。この保険サービス提供会社20に対して自動車保険加入の申込が行われると、保険サービス提供会社20は、自動車保険の内容（保険の対象項目と保険の補償内容）の提示を行い（112）、自動車保険加入の申込を行った保険利用会員がこれらの自動車

保険の内容を見て、自動車保険の内容の特定を行う（114）。この自動車保険の内容の特定を保険利用会員30が行うと、保険サービス提供会社20は、この自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転能力の問い合わせを行う（116）。すなわち、保険サービス提供会社20は、自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転能力（スピード違反、急ブレーキ使用、急ハンドル使用、急加速、蛇行運転）の提示を求める。この運転能力の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に運転能力の提示を行う。すなわち、運転能力の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に対して保険サービス提供会社20が提示した運転能力項目について回答する（118）。この保険利用会員30からの保険サービス提供会社20への運転能力の回答結果は、保険サービス提供会社20から保険会社10に通知される（120）。この保険サービス提供会社20からの運転能力の回答結果を受けて保険会社10では、保険加入者の運転能力が保険料にどのように影響するかの評価を行う。

【0030】

また、自動車保険の内容の特定を保険利用会員30が行うと、保険サービス提供会社20は、この自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転走行条件の問い合わせを行う（122）。すなわち、保険サービス提供会社20は、自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転走行条件の提示を求める。この運転走行条件の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に運転走行条件の提示を行う。すなわち、運転条件の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に対して保険サービス提供会社20が提示した運転走行条件項目について回答する（124）。この保険利用会員30からの保険サービス提供会社20への運転走行条件の回答結果は、保険サービス提供会社20から保険会社10に通知される（126）。この保険サービス提供会社20からの運転走行条件の回答結果を受けて保険会社10では、保険加入者の運転走行条件が保険料にどのように影響するかの評価を行う。

【0031】

これらの保険会社 1 0 に通知された保険利用会員 3 0 から保険サービス提供会社 2 0 に提示された運転能力、または、保険利用会員 3 0 から保険サービス提供会社 2 0 に提示された運転走行条件の評価結果に基づいて、保険会社 1 0 は、自動車保険の内容と自動車保険加入者の運転能力・運転走行条件に基づいて決定した支払保険料の算出を行い、その結果を保険サービス提供会社 2 0 に通知する（1 2 8）。この保険会社 1 0 から通知を受けた保険サービス提供会社 2 0 は、保険会社 1 0 が算定した自動車保険対して保険料を保険加入申込者である保険利用会員 3 0 に提示し、保険料の請求を行う（1 3 0）。この保険料の支払請求を受けた保険利用会員 3 0 が提示された自動車保険の保険料の支払額を保険サービス提供会社 2 0 に対して承諾すると（1 3 2）、保険サービス提供会社 2 0 は、特定した自動車保険に加入したことの通知を保険会社 1 0 に対して行う（1 3 4）。この保険サービス提供会社 2 0 からの通知を受けると、保険会社 1 0 は、保険サービス提供会社 2 0 に対して当該保険利用会員 3 0 の特定した自動車保険への加入を承諾する通知を行う（1 3 6）。この保険会社 1 0 からの特定した自動車保険への当該保険利用会員 3 0 の加入の承諾の通知を受けると、保険サービス提供会社 2 0 は、保険利用会員 3 0 に対して、自動車保険契約の成立の通知を行う（1 3 8）。この保険サービス提供会社 2 0 から自動車保険契約の成立の通知を受けると、保険利用会員 3 0 は、保険サービス提供会社 2 0 に対して、自動車保険の保険料の支払いを行う（1 4 0）。この保険サービス提供会社 2 0 に保険利用会員 3 0 から保険料の支払いがあると、会員登録カードに保険料の登録を行う。これによって保険利用会員 3 0 は、保険会社 1 0 からの保険サービスを受けられるようになる。

【0 0 3 2】

保険利用会員 3 0 の利用する自動車の車載機器 4 0 は、IC カードを挿入することによって保険サービス提供会社 2 0 と通信事業者 5 0 を介して通信することができる。図 3 ～図 7 に、自動車の車載機器 4 0 を用いた自動車保険の内容設定システム、自動車保険の料金設定システム、自動車保険の料金徴収システムの実施の形態を示す。

【0 0 3 3】

保険利用者 3 0 が所有する自動車の車載機器 4 0 は、図 8 に示す如き構成となっている。すなわち、車載機器 4 0 は、CPU 4 1 を有しており、この CPU 4 1 によってあらゆる演算が行われる。この CPU 4 1 には、バスラインを介してマンマシンインターフェース 4 2 が、また、バスラインを介して送受信装置 4 3 が接続されている。このマンマシンインターフェース 4 2 は、車載機器 4 0 の操作（データの書き込み、読み出し等）を行い、送受信装置 4 3 は、マンマシンインターフェース 4 2 から入力されたデータ類の送信、保険サービス提供会社 2 0 から送信されるデータの受信を、アンテナ 4 4 を介して行うものである。また、CPU 4 1 には、バスラインを介して I/O 4 5 が接続されており、この I/O 4 5 には、マンマシンインターフェース 4 2 によって入力したデータ類、保険サービス提供会社 2 0 から受信したデータを表示するディスプレイ 4 6 と、速度センサ、車速センサ、降雨センサ、照度センサ、エンジン温度センサ、エンジン回転センサ、前照灯・フォグランプ点灯センサ、室内温度センサ等の各種センサ 4 7 が接続されている。さらに、CPU 4 1 には、バスラインを介して GPS 受信機 4 8 が接続されており、この GPS 受信機 4 8 によって GPS 衛星からの位置信号をアンテナ 4 9 を介して受信できるようになっている。

【 0 0 3 4 】

図 3 ～図 6 において、保険サービス提供会社 2 0 は、保険会社 1 0 が提供する自動車保険に加入を希望する者から自動車保険の会員の申込を通信事業者 5 0 を介して（1 5 2）、車載機器 4 0 から受理する（1 5 4）。この保険利用会員 3 0 の車載機器 4 0 から申込があると、保険サービス提供会社 2 0 は、保険申込者の必要な個人データを記録して保険利用会員の会員登録処理を行い、会員番号である認証番号（IDコード番号）を特定し、会員証としてのカード（例えば、IDカード、又はカードに IC チップが埋め込まれ入力される情報と入力された情報を読み出すことのできる IC カード）を作成し（1 5 6）、保険申込者に会員登録通知（例えば、IDカードを発行して）を通信事業者 5 0 を介して（1 5 8）、車載機器 4 0 に送信して行う（1 6 0）。車載機器 4 0 からの会員の加入申込みの場合、IC カードは、郵送等の手段で保険申込者に交付する。このカードは、ここでは IC カードとして説明したが、ID カード、IC カード、マルチカ

ード等の会員を特定する個人情報、利用情報が記憶できる媒体で、持ち運びが便利な形態をしたものであれば、どのようなものでもよい。

【0035】

このようにして登録された保険利用会員30は、随時、保険サービス提供会社20に対して自動車保険の保険加入の申込を行うことができ、自動車保険加入の申込に当たっては、自動車保険加入申込を通信事業者50を介して(162)、車載機器40から行う(164)。この保険サービス提供会社20に対して自動車保険加入の申込が行われると、保険サービス提供会社20は、自動車保険の内容(保険の対象項目と保険の補償内容)の提示を通信事業者50を介して(166)、車載機器40から行い(168)、自動車保険加入の申込を行った保険利用会員がこれらの自動車保険の内容を見て、自動車保険の内容の特定を通信事業者50を介して(170)、車載機器40から行う(172)。この自動車保険の内容の特定を保険利用会員30が行うと、保険サービス提供会社20は、この自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転能力の問い合わせを通信事業者50を介して(174)、車載機器40から行う(176)。すなわち、保険サービス提供会社20は、自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転能力の提示を求める。この運転能力の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に運転能力の提示を通信事業者50を介して(178)、車載機器40から行う(180)。すなわち、運転能力の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に対して保険サービス提供会社20が提示した運転能力項目について回答する。この保険利用会員30からの保険サービス提供会社20への運転能力の回答結果は、保険サービス提供会社20から保険会社10に通知される(182)。この保険サービス提供会社20からの運転能力の回答結果を受けて保険会社10では、保険加入者の運転能力が保険料にどのように影響するかの評価を行う。

【0036】

また、保険サービス提供会社20に対して保険利用会員30から自動車保険加入の申込が行われると、保険サービス提供会社20から自動車保険の内容(保険の対象項目と保険の補償内容)の提示(166、168)、保険利用会員30か

ら自動車保険の内容の特定（170、172）が行われ、保険サービス提供会社20は、この自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転条件の問い合わせを通信事業者50を介して（184）、車載機器40から行う（186）。すなわち、保険サービス提供会社20は、自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30に対して運転条件の提示を求める。この運転条件の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に運転条件の提示を通信事業者50を介して（188）、車載機器40から行う（190）。すなわち、運転条件の提示を求められた保険利用会員30は、保険サービス提供会社20に対して保険サービス提供会社20が提示した運転条件項目について回答する。この保険利用会員30からの保険サービス提供会社20への運転条件の回答結果は、保険サービス提供会社20から保険会社10に通知される（192）。この保険サービス提供会社20からの運転条件の回答結果を受けて保険会社10では、保険加入者の運転条件が保険料にどのように影響するかの評価を行う。

【0037】

これらの保険会社10に通知された保険利用会員30から保険サービス提供会社20に提示された運転能力、または、保険利用会員30から保険サービス提供会社20に提示された運転条件の評価結果に基づいて、保険会社10は、保険加入者の特定する保険の対象項目と保険の補償内容で申込まれた自動車保険に対して保険料の算定を行い、その結果を保険サービス提供会社20に通知する（194）。この保険会社10から通知を受けた保険サービス提供会社20は、保険会社10が算定した自動車保険に対して保険料を保険加入申込者である保険利用会員30に提示し、保険料の請求を通信事業者50を介して（196）、車載機器40から行う（198）。この保険料の支払請求を受けた保険利用会員30が提示された自動車保険の保険料の支払額を保険サービス提供会社20に対して通信事業者50を介して（200）、車載機器40から承諾すると（202）、保険サービス提供会社20は、特定した自動車保険に加入したことの通知を保険会社10に対して行う（204）。この保険サービス提供会社20からの通知を受けると、保険会社10は、保険サービス提供会社20に対して当該保険利用会員30の特定した自動車保険への加入を承諾する通知を行う（206）。この保険会

社 1 0 からの特定した自動車保険への当該保険利用会員 3 0 の加入の承諾の通知を受けると、保険サービス提供会社 2 0 は、保険利用会員 3 0 に対して、自動車保険契約の成立の通知を通信事業者 5 0 を介して (2 0 8) 、車載機器 4 0 から行う (2 1 0) 。この保険サービス提供会社 2 0 から自動車保険契約の成立を通知を受けると、保険利用会員 3 0 は、保険サービス提供会社 2 0 に対して、自動車保険の保険料の支払いを行う (2 1 2) 。この保険サービス提供会社 2 0 に保険利用会員 3 0 から保険料の支払いがあると、会員登録カードに保険料の登録を行う。これによって保険利用会員 3 0 は、保険会社 1 0 からの保険サービスを受けられるようになる。

【 0 0 3 8 】

このようにして自動車保険契約が成立し、保険利用会員 3 0 が、保険サービス提供会社 2 0 に保険料の支払いを行うと、保険サービス提供会社 2 0 の処理装置 2 1 の記憶装置の支払保険料データベース 7 5 に保険利用会員 3 0 の支払保険料が格納される (2 1 4) 。この支払保険料データベース 7 5 へ保険利用会員 3 0 の支払保険料の格納が行われると、保険サービス提供会社 2 0 は、保険利用会員 3 0 から支払保険料を受領したことの通知を、通信事業者 5 0 を介して (2 1 6) 、車載機器 4 0 に行う (2 1 8) 。この保険利用会員 3 0 からの支払保険料の受領の通知は、通信事業者 5 0 を介して、保険会社 1 0 にも行われる (2 2 0)

【 0 0 3 9 】

また、保険利用会員 3 0 から保険料の支払いを受け、車載機器 4 0 と保険会社 1 0 に支払保険料の受領の通知を行った保険サービス提供会社 2 0 は、保険利用会員 3 0 が支払った支払保険料を、基本保険料と、運転能力保証料・安全運転確約料とに仕分けする (2 2 2) 。この運転能力保証料というのは、自動車保険に加入した会員が申告した運転能力を自らが保証するということで、その自動車保険に加入した会員が申告した運転能力に違反する場合に保険料として支払うものである。また、安全運転確約料というのは、保険サービス提供会社 2 0 が設定した安全運転基準が遵守できなかった場合に保険料として支払うもので、安全運転基準が遵守されている限り特別に保険料が請求されないものである。すなわち、安

全運転基準を遵守するという約束料である。この保険サービス提供会社20において、保険利用会員30が支払った支払保険料の基本保険料と、運転能力保証料・安全運転確約料への仕分けが行われると、保険サービス提供会社20は、運転能力・安全運転に対するポイント値と、そのポイント値に基づく支払加算保険料の提示を、通信事業者50を介して(224)、車載機器40に行う(226)。この運転能力・安全運転に対するポイント値の提示を行うと共に、保険サービス提供会社20は、保険利用会員30に対し、運転能力の基準の通知を行う(228)。また、保険サービス提供会社20は、保険利用会員30に対し、定期的に安全運転項目に対する結果の通知を行う(230)。

【0040】

一方、車載機器40からは、自動車に搭載している各種センサ47によって検出される運転状況の送信が通信事業者50を介して(232)、保険サービス提供会社20に行われる(234)。この車載機器40から自動車に搭載している各種センサ47によって検出される運転状況が送信されると、この各種センサ47によって検出される運転状況に基づいて、保険サービス提供会社20においては、運転能力の判定、安全運転の判定を行い、運転能力・安全運転判定データベース76に格納する(236)。また、保険サービス提供会社20は、運転能力が保険サービス提供会社20の予定する基準値を下回る、すなわち、運転能力の判定が減点方向にあった場合には、運転能力ポイント(加算保険料としての支払いポイント)のポイント値の提示を、通信事業者50を介して(238)、車載機器40に行われる(240)。これと同時に、保険サービス提供会社20は、安全運転が保険サービス提供会社20の予定する基準値を下回る、すなわち、安全運転の判定が減点方向にあった場合には、安全運転ポイント(加算保険料としての支払いポイント)のポイント値の提示を、通信事業者50を介して(242)、車載機器40に行われる(244)。このポイント値は、保険サービス提供会社20において、一定期間毎に積算される(246)。

【0041】

この保険サービス提供会社20において積算されたポイント値の通知は、保険サービス提供会社20から通信事業者50を介して(248)、車載機器40に

行われる（250）。この保険サービス提供会社20から通知されたポイント値について保険利用会員30が了解すると、積算ポイント値の了承が、車載機器40から通信事業者50を介して（252）、保険サービス提供会社20に行われる（254）。この積算ポイント値の了承に基づいて、保険サービス提供会社20は、車載機器40（保険利用会員30）に対し加算保険料の請求を、通信事業者50を介して（256）、行う（258）。この加算保険料の請求に基づき、車載機器40（保険利用会員30）は、加算保険料の支払の了承を、通信事業者50を介して（260）、保険サービス提供会社20に対して行う（262）。すると、保険サービス提供会社20からは、この請求に対する支払を運転能力保証料・安全運転確約料から受けることを、通信事業者50を介して（264）、車載機器40（保険利用会員30）に対して行う（266）。これに対し、車載機器40（保険利用会員30）からは、運転能力保証料・安全運転確約料からの支払の了承を、通信事業者50を介して（268）、保険サービス提供会社20に対して行う（270）。この運転能力保証料・安全運転確約料からの支払の了承に基づいて、保険サービス提供会社20において、保険利用会員30が支払った支払保険料を仕分けした運転能力保証料・安全運転確約料からの引き落としを行う（272）。この運転能力保証料・安全運転確約料からの引き落としに基づいて、保険サービス提供会社20は、加算保険料引き落としの通知を、通信事業者50を介して（274）、車載機器40（保険利用会員30）に行う（276）。

【0042】

一方、車載機器40からは、自動車に搭載している各種センサ47によって検出される運転状況の送信が通信事業者50を介して（278）、保険サービス提供会社20に行われる（280）。この車載機器40から自動車に搭載している各種センサ47によって検出される運転状況が送信されると、この各種センサ47によって検出される運転状況に基づいて、保険サービス提供会社20においては、運転能力の判定、安全運転の判定を行い、運転能力・安全運転判定データベース76に格納する（282）。また、保険サービス提供会社20は、運転能力が保険サービス提供会社20の予定する基準値を満足する、すなわち、運転能力

の判定が加点方向にあった場合、安全運転が保険サービス提供会社 2 0 の予定する基準値を満足する、すなわち、安全運転の判定が加点方向にあった場合には、運転能力が基準値・安全運転が基準値に適合した場合のポイント値（優良運転者として運転者に還元する付与ポイント値）の提示を、通信事業者 5 0 を介して（2 8 4）、車載機器 4 0 に行われる（2 8 6）。この付与ポイント値は、支払保険料に充てられるものでも良いし、所定ポイント量毎に景品が貰えるようにしても良い。この付与ポイント値は、保険サービス提供会社 2 0 において、一定期間毎に積算される（2 8 8）。

【0 0 4 3】

この保険サービス提供会社 2 0 において積算されたポイント値は、保険サービス提供会社 2 0 から通信事業者 5 0 を介して（2 9 0）、車載機器 4 0 に通知される（2 9 2）。この保険サービス提供会社 2 0 から利用会員 3 0（車載機器 4 0）に積算されたポイント値の通知を行うと、保険サービス提供会社 2 0 において、保険利用会員 3 0 に対し、運転能力基準値適合ポイント値・安全運転基準値適合ポイント値の付与を行う（2 9 4）。この運転能力基準値適合ポイント値・安全運転基準値適合ポイント値の付与に基づいて、保険サービス提供会社 2 0 は、ポイント値の付与の通知を、通信事業者 5 0 を介して（2 9 6）、車載機器 4 0（保険利用会員 3 0）に行う（2 9 8）。

【0 0 4 4】

次に会員の申込みに基づく保険サービスの提供を希望する保険利用会員 3 0 側と保険サービス提供会社 2 0 側の会員登録の処理フローについて図 9 を用いて説明する。

【0 0 4 5】

図において、保険会社 1 0 の提供する自動車保険の提供を希望する者（保険利用会員 3 0）は、保険サービス提供会社 2 0 に会員登録をする必要がある。この保険サービス提供会社 2 0 に会員登録を希望する者（保険利用会員 3 0）は、ステップ 3 0 2 において、PC 3 1、車載機器 3 2、携帯端末 3 3 等の端末機器を用いて保険サービス提供会社 2 0 を呼び出す。このステップ 3 0 2 において会員登録を希望する者が保険サービス提供会社 2 0 を呼び出す（アクセスする）と、

ステップ304において、保険サービス提供会社20は応答し、会員登録を希望する者（保険利用会員30）に対しメニュー送信を行う。

【0046】

すると、ステップ306において、保険サービス提供会社20から会員登録を希望する者（保険利用会員30）側のPC31、車載機器32、携帯端末33等の端末機器には、図13に示す如く、

「新規会員登録か？」

という表示画面が送信される。この保険サービス提供会社20からの会員登録可否かを問い合わせるメッセージ画面が送信されると、会員登録を希望する者（保険利用会員30）側のPC31、車載機器32、携帯端末33等の端末機器には、「新規会員登録か？」のメッセージ画面が表示される。このステップ306において、会員登録を希望する者（保険利用会員30）が図13に示されるメッセージ画面で「NO」を選択（クリック）すると、ステップ308において別な処理が行われる。また、このステップ306において図13に示されるメッセージ画面で「YES」を選択（クリック）すると、ステップ310において、保険サービス提供会社20に対して会員登録を希望する者（保険利用会員30）は会員登録の申込を行うことになる。

【0047】

この会員登録を希望する者（保険利用会員30）からの保険サービス提供会社20に対する会員登録の申込は、保険サービス提供会社20に送信される。この会員登録を希望する者（保険利用会員30）からの会員登録の申込を受けると、保険サービス提供会社20では、ステップ312において、会員登録を希望する者（保険利用会員30）に対し、会員登録のために必要な入力事項（利用者氏名、住所、職業、連絡先、年齢、性別、家族構成、運転歴（免許取得年月）、その他（趣味・趣向、銀行口座名）等）の入力を行う画面表示データを、図14に示す如く、

「次の事項を入力して下さい。

1. 氏名
2. 住所

3. 生年月日／年齢／性別
4. 電話番号
5. 家族構成
6. 運転歴
7. その他

」

という表示画面として送信する。この保険サービス提供会社20からの会員登録のために必要な入力事項の入力を行う画面表示データの送信を受けて、会員登録を希望する者（保険利用会員30）側では、ステップ314において、この入力画面表示データを受信する。そして、ステップ316において、この受信した入力画面表示データに基づいて会員登録のために必要な入力事項の入力を行い保険サービス提供会社20に送信する。

【0048】

保険サービス提供会社20側では、ステップ318において、この必要な入力事項の入力を行った入力画面表示データを受信し、ステップ320において、会員登録の入力（会員Noの付与）を行い、図30に示す如き会員登録カード60の作成を行う。そして、ステップ322において、保険サービス提供会社20側では、図29に図示の会員データベース71に保険利用会員として会員登録のために必要な入力事項を格納して会員登録を行い、保険利用会員としてのIDコードの割り当てを行い会員登録を希望する者（保険利用会員30）に対しIDコードの付与を行う。この保険利用会員として会員登録のために必要な入力事項の入力、IDコードの付与が行われると、保険サービス提供会社20側は、ステップ322において、会員登録を希望する者（保険利用会員30）に対し、保険利用会員として登録されたことを示す会員としての登録通知書を、図15に示す如く

「会員として登録されました。

貴方の会員番号とIDコードは次のとおりです。

会員番号：〇〇〇〇〇

IDコード：△△△△△

」

という表示画面として送信する。この保険サービス提供会社20からの会員とし

ての登録通知書の送信を受けて、会員登録を希望する者（保険利用会員30）は、ステップ324において、会員としての登録通知書を受領したことの報告を保険サービス提供会社20に送信し、処理フローを終了する。この一連の動作フローが終了すると、会員登録を希望する者は、保険サービス提供会社20における保険利用会員となる。

【0049】

次に保険利用会員30の保険サービス提供会社20に対する自動車保険の加入申込みに基づく自動車保険加入の保険利用会員30側の処理フローについて図10を用いて説明する。

【0050】

図10において、保険利用会員30は、保険会社10から提供される自動車保険に加入することを希望した場合、ステップ402において、保険サービス提供会社20に対して自動車保険加入の申込のアクセスをPC31、車載機器32、携帯端末33等の端末機器から行う。この自動車保険加入の申込みが行われると、保険利用会員30は、ステップ404において、自動車保険加入者の特定を行うため、会員No、IDコードの提示を行う。この会員No、IDコードの提示に基づいて、保険サービス提供会社20では、会員データベース25に登録されている保険利用会員30の個人データを検索し、保険利用会員であることの確認をとる。保険利用会員であることの確認がとれる（自動車保険に加入の申込を行う）と、保険サービス提供会社20からは、自動車保険の加入を希望する者のPC31、車載機器32、携帯端末33等の端末機器に対し、図16に示す如く、「自動車保険の加入ですか」

という表示画面が送信される。この保険サービス提供会社20から自動車保険の加入か否かを問い合わせるメッセージ画面が送信されると、自動車保険の加入を希望する者の加入希望者側のPC31、車載機器32、携帯端末33等の端末機器には、「自動車保険の加入ですか」のメッセージ画面が表示される。このステップ402において、自動車保険の加入を希望する者が図16に示されるメッセージ画面で「YES」を選択（クリック）すると、保険サービス提供会社20からは、図17に示す如く、

「次の事項を入力して下さい。

1. メーカー名
2. 車種
3. グレード
4. タイプ
5. 排気量
6. 初年度登録年月
7. 登録番号
8. 総走行距離
9. その他

」

という自動車保険に加入する車両の情報を入力するメッセージ画面が送信されてくる。

【0051】

この図17に示されるメッセージ画面のメーカー名は、自動車の製造メーカーで、日本国、米国、仏国等がある。また、図17に示されるメッセージ画面の車種は、各メーカーが自動車に付けている名称である。また、図17に示されるメッセージ画面のグレードは、各メーカーが自動車の名称毎にランクを付けて表示しているものである。さらに図17に示されるメッセージ画面のタイプは、各自動車の特徴を示すもので、例えば、4ドアハードトップ等である。また、図17に示されるメッセージ画面の排気量は、各自動車に各メーカーが表示しているエンジン排気量で、例えば、3000CCの如きものである。さらに、図17に示されるメッセージ画面の初年度登録年は、各自動車を最初に陸運局に登録した年月で、例えば、平成13年3月の如きものである。また、図17に示されるメッセージ画面の登録番号は、各自動車を陸運局に登録したときに付けられる登録番号年月で、各自動車にナンバープレートに表示されるもので、例えば、「練馬33ヘ12-34」等である。さらに、図17に示されるメッセージ画面の総走行距離は、自動車が今まで走行した距離でスピードメータに示されている距離である。保険利用会員30は、このステップ406において、この保険サービス提供会社20から送信されてきた車両情報の入力を行う。

【0052】

このステップ406において車両情報の入力を行うと、保険サービス提供会社20からは、図18に示す如く、

「加入を希望する自動車保険の内容を入力して下さい。

1. 対人賠償

- ☐ 無制限
- ☐ 〇〇〇〇万円

2. 対物賠償

- ☐ 〇〇〇万円まで
- ☐ 〇〇万円～〇〇〇万円

3. 自己賠償

- ☐ 〇〇〇万円まで
- ☐ 〇〇万円～〇〇〇万円

4. 同乗者賠償

- ☐ 無制限
- ☐ 〇〇〇〇万円

5. 運転者特定

- ☐ 有り
- ☐ 無し

6. 運転者年齢制限

- ☐ 無制限
- ☐ 30歳以上

という加入する自動車保険を特定する自動車保険の内容を入力するメッセージ画面が送信されてくる。

【0053】

この図18に示されるメッセージ画面の対人賠償は、人身事故を起こしたときの相手方負傷者等に対する金銭賠償のことで、保障内容としては、無制限、〇〇〇〇万円以下の補償がある。また、図18に示されるメッセージ画面の対物賠償は、自動車事故で相手方の自動車の修理等に対する金銭賠償のことで、保障内容

としては、〇〇〇万円まで補償、〇〇万円～〇〇〇万円補償等である。また、図18に示されるメッセージ画面の自己賠償は、自動車事故で破損した自分の自動車を修理する金銭補償のことで、保障内容としては、〇〇〇万円まで補償、〇〇万円～〇〇〇万円補償等である。また、図18に示されるメッセージ画面の同乗者賠償は、自動車事故で同乗者が負傷した場合に同乗者に補償するもので、保障内容としては、無制限、〇〇〇〇万円以下の補償がある。さらに、図18に示されるメッセージ画面の運転者特定は、保険対象自動車を運転する人を特定するもので、例えば、保険契約した人だけ等である。またさらに、図18に示されるメッセージ画面の運転者年齢制限は、保険対象自動車を運転する人の年齢を限定して該当しない者が運転したときには補償しないというもので、例えば、「無制限、30歳以上」等である。保険利用会員30は、この保険サービス提供会社20から送信されてきた図18に示されるメッセージ画面にしたがって、自動車保険の内容（保険の対象項目と保険の補償内容）の特定を行う（ステップ408）。

【0054】

このステップ408において自動車保険の内容の特定を行うと、保険サービス提供会社20から自動車保険加入の申込を行った保険利用会員30の運転能力を問い合わせる図19に示す如く、

「次の事項を入力して下さい。

1. 事故歴
2. 交通違反歴
3. スピード違反歴
4. 急ブレーキ使用率
5. 急ハンドル使用率
6. その他

」

というメッセージ画面が送信されてくる。

【0055】

この図19に示される保険利用会員30の運転能力を示すメッセージ画面の事故歴は、保険に加入する者の過去に起こした事故で、例えば、接触事故等である。また、図19に示される保険利用会員30の運転能力を示すメッセージ画面の

交通違反歴は、保険に加入する者の過去に起こした交通違反で、警察の処分（反則金、罰金）を受けたもの等である。また、図19に示される保険利用会員30の運転能力を示すメッセージ画面のスピード違反歴は、交通違反の中で最も重大な事故に結びつきやすいもので、スピード違反の回数を示したものである。また、図19に示される保険利用会員30の運転能力を示すメッセージ画面の急ブレーキ使用率は、1回の運転中でブレーキを使用する回数の内の急ブレーキを使用する割合で、急ブレーキは、重大な事故を引き起こす原因になるものであるため重要なものとなる。このブレーキの使用回数、急ブレーキの使用回数は、自動車にブレーキセンサーを装着しておき、保険サービス提供会社20でポーリングして取り込むことにより容易に知ることができる。さらに、図19に示される保険利用会員30の運転能力を示すメッセージ画面の急ハンドル使用率は、1回の運転中で急ハンドルを使用する回数で、急ハンドルは、重大な事故を引き起こす原因になるものであるため重要なものとなる。この急ハンドルの使用回数は、自動車にハンドルセンサーを付けておき、保険サービス提供会社20でポーリングして取り込むことにより容易に知ることができる。保険利用会員30は、この図19に示されるメッセージ画面にしたがって、ステップ410において、運転能力の入力を行う。

【0056】

このステップ410において、運転能力の入力を行うと、ステップ412において、自動車保険に加入を希望する者の自動車の安全運転の入力を行う。この自動車保険に加入を希望する者の自動車の安全運転は、事故、交通違反、定期点検不実施、長時間連続運転である。これらについての違反歴の入力を行う。このステップ412において自動車保険に加入を希望する者の自動車の安全運転の入力を行うと、ステップ414において、保険サービス提供会社20からは、図20に示す如く、

「次の事項を入力して下さい。

1. 修理歴
2. 定期点検実施率
3. 整備状態

- 4. 製造年月
- 5. 多走行地域
- 6. その他

という自動車の運転条件を入力するメッセージ画面が送信されてくる。

【0057】

この図20に示される保険利用会員30の運転条件を示すメッセージ画面の修理歴は、保険に加入する自動車の過去に修理した回数で、事故によるものとは限らない。また、図20に示される保険利用会員30の運転条件を示すメッセージ画面の定期点検実施率は、保険に加入する自動車について定期点検（法廷点検を含む）の割合を示したものである。また、図20に示される保険利用会員30の運転条件を示すメッセージ画面の整備状態は、保険に加入する自動車に現在修理を要する箇所がないか、整備点検で新品の部品を使用しているか等である。また、図20に示される保険利用会員30の運転条件を示すメッセージ画面の製造年月は、保険に加入する自動車が実際に製造された年月で、製造された年月が古くなると自動車の状態が少しずつ劣化していくので重要なものとなっている。これは、陸運局に登録された年月ではない。さらに、図20に示される保険利用会員30の運転条件を示すメッセージ画面の多走行地域は、保険に加入する自動車が多く走行した地域が、海辺だと自動車の腐食が早いので重要なことである。保険利用会員30は、この図20に示されるメッセージ画面にしたがって、ステップ414において、運転条件の入力を行う。この運転条件の問い合わせは、図19に示される運転能力の問い合わせと一緒に行っても良く、運転条件の問い合わせと運転能力の問い合わせのいずれかであっても良い。

【0058】

このステップ414において、運転条件の入力を行うと、保険サービス提供会社20においては、入力された運転能力、安全運転、運転条件を既存の保険料にどのように影響するかの評価を行う。すなわち、保険加入者の運転能力が、保険加入者の平均の運転能力より低い場合は、事故発生率が高くなると判断され保険料の増額になり、保険加入者の運転能力が、保険加入者の平均の運転能力より高い場合は、事故発生率が低くなると判断され保険料の減額となる。さらに、安全

運転が行われていれば事故発生率が低くなると判断され保険料の減額となり、安全運転が行われていなければ事故発生率が高くなると判断され保険料の増額になる。同様に、自動車の運転条件が、保険加入者の平均の運転条件より悪い場合は、事故発生率が高くなると判断され保険料の増額になり、自動車の運転条件が、保険加入者の平均の運転条件より良い場合は、事故発生率が低くなると判断され保険料の減額となる。このような保険サービス提供会社 2 0 における評価に基づいて、保険利用会員 3 0 は、ステップ 4 1 6 において、保険の内容で決まる保険料に自動車の運転条件、保険加入車両の使用状況を加味して決定される基本保険料と、保険の加入申込者の特定情報、保険加入車両の消耗情報、保険の加入申込者の運転能力／自動車の安全運転違反の際の加算保険料とを加算して求めた支払保険料が、保険サービス提供会社 2 0 から、図 2 1 に示す如く、

「貴方の加入する自動車保険の支払保

険料の総合計は、基本保険料が

〇〇〇〇〇円

運転能力保証料・安全運転確約料が

〇〇〇〇〇円

となり、貴方が申告した運転能力が保証されない場合、安全運転がなされない場合は、その都度ポイント値が加算され、毎月、ポイント値に相当する金額が運転能力保証料・安全運転確約料から引き落とされます。

したがいまして、貴方は当初総額で

〇〇〇〇〇円

の保険料を支払うことになります。

各項目に対するポイント値の詳細を確認しますか？

という自動車保険の支払保険料を提示するメッセージ画面が送信されてくる。このステップ 4 1 6 において、自動車保険の加入を希望する者が図 2 1 に示される

メッセージ画面で「YES」を選択（クリック）すると、保険サービス提供会社20からは、図22に示す如く、

「貴方の運転能力の各項目に対する

減点ポイントは、次の通りです。

- | | |
|----------|-----|
| ①スピード違反 | 1 |
| ②急ブレーキ使用 | 0.5 |
| ③急ハンドル使用 | 1 |
| ④急加速 | 0.5 |
| ⑤蛇行運転 | 0.5 |

貴方の安全運転の各項目に対する

減点ポイントは、次の通りです。

- | | |
|----------|-----|
| ①事故 | 2 |
| ②交通違反 | 1 |
| ③定期点検不実施 | 0.5 |
| ④長時間連続運転 | 0.2 |

契約を締結しますか？

」

という自動車保険の支払保険料の加算保険料を算定する各項目に対するポイント値の詳細を提示するメッセージ画面が送信されてくる。この図22に示す如き各項目に対するポイント値の詳細を提示するメッセージ画面が表示され、この図22に示されるメッセージ画面で「了解」を選択（クリック）すると、ステップ418において、保険サービス提供会社20からは、自動車保険の契約の成立の受領の通知が送信されてくる。

【0059】

この図21においては、加入する自動車保険の支払保険料の総合計を、基本保険料と運転能力保証料・安全運転確約料とし、自動車保険に加入を希望する者が申告した運転能力が保証されない場合、及び又は安全運転がなされない場合、その都度ポイント値を加算し、毎月、ポイント値に相当する金額を運転能力保証料・安全運転確約料から引き落とす方法が採られているが、ステップ416において、支払保険料が、保険サービス提供会社20から、図23に示す如く、

「貴方の加入する自動車保険の支

払保険料の総合計は、

〇〇〇〇〇円

で、その内訳は、基本保険料が

〇〇〇〇〇円

運転能力保証料・安全運転確約

料が

〇〇〇〇〇円

になります。この運転能力保証料・

安全運転確約料は、貴方が申告し

た運転能力が保証され、安全運転が

確保される場合は、保険期間終了時

に貴方に返還されます。

契約を締結しますか？

」

という自動車保険の支払保険料のメッセージ画面であってもよい。この場合は、運転能力、安全運転がポイントによって支払われるのではなく、運転能力、安全運転が保証されたときの特典として運転能力保証料・安全運転確約料が返還されるものである。

【0060】

このステップ418において支払保険料の請求額を受領すると、保険サービス提供会社20から自動車保険の契約成立の通知がなされ、保険サービス提供会社20から、図24に示す如く、

「保険料をお支払い下さい。」

という自動車保険の支払保険料の支払請求を提示するメッセージ画面が送信されてくる。このステップ418において、自動車保険の加入を希望する者が図24に示されるメッセージ画面で「YES」を選択（クリック）することによって、自動車保険の契約は成立する。この図24に示されるメッセージ画面で「YES」を選択（クリック）することによって保険利用会員30には、自動車保険の保険料の支払い義務が生じ、保険利用会員30は、ステップ420において、保険

サービス提供会社20に自動車保険に加入を希望する者が要求された支払保険料の支払を行うと、保険サービス提供会社20からは、図25に示す如く、

「保険料を受領しました。

自動車保険契約は締結

されました。」

という自動車保険契約締結終了を提示するメッセージ画面が送信されてきて、このフローを終了する。

【0061】

次に保険利用会員30の保険サービス提供会社20に対する自動車保険の加入申込みに基づく自動車保険加入の保険サービス提供会社20側の処理フローについて図11を用いて説明する。

【0062】

図11において、保険サービス提供会社20は、保険利用会員30が保険会社10から提供される自動車保険に加入することを希望した場合、ステップ502において、保険利用会員30からの自動車保険に加入申込を受領する。このステップ502において保険利用会員30からの自動車保険に加入申込を受領すると、ステップ504において、自動車保険加入者の特定を行うため、会員No、IDコード等の保険加入申込者の個人情報の問い合わせを行う。この会員No、IDコードの問い合わせに基づいて保険加入申込者から個人情報が提示されると、この提示された個人情報に基づいて、保険サービス提供会社20では、図29に図示の会員データベース71に登録されている保険利用会員30の個人データを検索し、保険利用会員であることの確認をとると同時に当該保険利用会員の個人データを読み出す。

【0063】

この保険利用会員であることの確認がとれる（自動車保険に加入の申込を行う）と、保険サービス提供会社20からは、図16に示す如く、「自動車保険に加入ですか」のメッセージ画面を保険利用会員30に送信し、保険利用会員30が、図16に示されるメッセージ画面で「YES」を選択（クリック）すると、保険サービス提供会社20は、ステップ506において、保険加入車両の情報の問

い合わせを、図17に示す如き自動車保険に加入する車両の情報を入力するメッセージ画面を送信して行う。この図17に示されるメッセージ画面の入力を保険利用会員30が行い、保険サービス提供会社20が保険利用会員30からの入力を受領すると、保険サービス提供会社20は、ステップ508において、保険利用会員30に対し、図18に示す如き自動車保険を特定する自動車保険の内容を入力するメッセージ画面を送信する。この図18に示す如き自動車保険を特定する自動車保険の内容を入力するメッセージ画面を受信した保険利用会員30が自動車保険の内容を入力すると、保険サービス提供会社20は、ステップ510において、保険利用会員30からの入力結果を受信する。

【0064】

このステップ510において保険利用会員30からの自動車保険の内容の入力結果を受信すると、保険サービス提供会社20は、ステップ512において、保険利用会員30に対し、図19に示す如き保険利用会員30の運転能力を問い合わせるメッセージ画面を送信する。この図19に示す如き保険利用会員30の運転能力を問い合わせるメッセージ画面を受信した保険利用会員30が運転能力を入力すると、保険サービス提供会社20は、ステップ514において、保険利用会員30からの運転能力の入力結果を受信する。このステップ514において保険利用会員30からの運転能力の入力結果を受信すると、保険サービス提供会社20は、ステップ516において、保険利用会員30に対し、図20に示す如き保険利用会員30の自動車の運転条件を問い合わせるメッセージ画面を送信する。この図20に示す如き保険利用会員30の自動車の運転条件を問い合わせるメッセージ画面を受信した保険利用会員30が運転条件を入力すると、保険サービス提供会社20は、ステップ518において、保険利用会員30からの自動車の運転条件の入力結果を受信する。

【0065】

このステップ518において保険利用会員30からの自動車の運転条件の入力結果を受信すると、ステップ520において、保険利用会員30に対し、保険加入車両の使用状況（使用年数、総走行距離、部品交換等）の問い合わせを行う。このステップ520において保険利用会員30に対し保険加入車両の使用状況の

問い合わせを行うと、この問い合わせに対し保険利用会員30が保険加入車両の使用状況を回答すると、保険サービス提供会社20は、ステップ522において、保険利用会員30からのこの保険加入車両の使用状況の回答を受信する。このステップ522において保険利用会員30からのこの保険加入車両の使用状況の回答を受信すると、保険サービス提供会社20は、ステップ524において、保険加入申込者（保険利用会員30）に対し、運転能力基準（保険加入申込者が申告した運転能力で、具体的には、図19に示される事項）を提示する。さらに、保険サービス提供会社20は、ステップ526において、保険加入申込者（保険利用会員30）に対し、安全運転の基準の事項（事故、交通違反、定期点検不実施、長時間連続運転）を提示する。このステップ524において運転能力基準をステップ526において安全運転の基準の事項を保険加入申込者（保険利用会員30）に対し提示すると、保険サービス提供会社20は、ステップ528において、運転能力の各項目に対する減点ポイント、安全運転の各項目に対する減点ポイントの提示（具体的には、図22）を保険加入申込者（保険利用会員30）に対して行う。さらに、保険サービス提供会社20は、ステップ530において、この保険加入申込者（保険利用会員30）に対して提示した運転能力の各項目に対する減点ポイント、安全運転の各項目に対する減点ポイントの単位減点ポイントに対する加算保険料（例えば、0.1ポイント/〇〇円）の提示を保険加入申込者（保険利用会員30）に対して行う。

【0066】

このステップ530において単位減点ポイントに対する加算保険料の提示を保険加入申込者（保険利用会員30）に対して行うと、保険サービス提供会社20では、保険加入申込者（保険利用会員30）から提供される運転能力、保険加入車両の使用状況、安全運転に対して、既存の保険料にどのように影響するかの評価を行う。この評価に基づいて、保険サービス提供会社20では、ステップ532において、保険の内容で決まる保険料に自動車の運転条件、保険加入車両の使用状況を加味して決定される基本保険料と、保険の加入申込者の特定情報、保険加入車両の消耗情報、保険の加入申込者の運転能力/自動車の安全運転違反の際の加算保険料とを加算して求めた支払保険料を算定し、この支払保険料を保険

加入申込者（保険利用会員 3 0）に対して、図 2 1 に示す如き自動車保険の支払保険料を示すメッセージ画面を送信して提示する。この送信を受けて保険加入申込者（保険利用会員 3 0）が、自動車保険の支払保険料の請求金額を了解、すなわち、図 2 1 に示されるメッセージ画面において「YES」が選択（クリック）されると、保険サービス提供会社 2 0 は、ステップ 5 3 4 において、保険加入申込者（保険利用会員 3 0）からの自動車保険の支払保険料の了解を受領する。このステップ 5 3 4 において保険加入申込者（保険利用会員 3 0）からの自動車保険の支払保険料の了解を受領すると、保険サービス提供会社 2 0 は、ステップ 5 3 6 において、保険加入申込者（保険利用会員 3 0）に対して自動車保険の契約成立の通知を行い、ステップ 5 3 8 において、図 2 4 に示す如き自動車保険の保険料の支払請求のメッセージ画面を送信する。この図 2 4 に示されるメッセージ画面を受信した保険利用会員 3 0 が保険料の支払いを了承し、保険サービス提供会社 2 0 に請求された保険料の支払を行い、保険サービス提供会社 2 0 がこの保険料を受け取ると、ステップ 5 4 0 において、保険利用会員 3 0 に対し、支払保険料の受取を通知し、このフローを終了する。

【 0 0 6 7 】

次に保険利用会員 3 0 と自動車保険の契約を締結した保険サービス提供会社 2 0 の自動車保険の保険料の徴収の処理フローについて図 1 2 を用いて説明する。

【 0 0 6 8 】

図 1 2 において、保険サービス提供会社 2 0 が保険利用会員 3 0 から締結した保険について支払保険料を徴収するにあたって、保険サービス提供会社 2 0 は、ステップ 6 0 2 において、車載機器 4 0 の各種センサ 4 7（速度センサ、車速センサ、降雨センサ、照度センサ、エンジン温度センサ、エンジン回転センサ、前照灯・フォグランプ点灯センサ、室内温度センサ等）によって検出される自動車の運転状況を保険利用会員 3 0（車載機器 4 0）から受領する。このステップ 6 0 2 において各種センサ 4 7 によって検出された運転状況を受領すると、保険サービス提供会社 2 0 では、ステップ 6 0 4 において、これら各種センサ 4 7 からの検出データに基づき運転能力の判定を行い、ステップ 6 0 6 において、これら各種センサ 4 7 からの検出データに基づき安全運転の判定を行う。このステップ

604における運転能力の判定、ステップ606における安全運転の判定結果は、ステップ608において、保険サービス提供会社20の処理装置21の記憶装置の運転能力・安全運転判定データベース76に格納される。このステップ606において運転能力・安全運転判定データベース76に格納された判定結果の運転能力が基準値以下の場合には、保険サービス提供会社20は、ステップ610において、保険利用会員30（車載機器40）に対して加算又は減算されるポイント値の提示を行う。さらに、このステップ606において運転能力・安全運転判定データベース76に格納された判定結果の安全運転が基準値以下の場合には、保険サービス提供会社20は、ステップ612において、保険利用会員30（車載機器40）に対して加算又は減算されるポイント値の提示を行う。

【0069】

この保険利用会員30（車載機器40）に対して提示されるポイント値は、一定期間毎（例えば、1ヶ月、3ヶ月等）に積算し、保険サービス提供会社20は、ステップ612において、保険利用会員30（車載機器40）に対して、図26に示す如く、

「貴方の〇〇月の運転能力保証料・安全

運転確約料の総合計ポイント数は

〇〇〇ポイント

です。△△円／1ポイントで計算します

と貴方の〇〇月の総合計金額は、

〇〇〇円

となり、この金額が運転能力保証料・

安全運転確約料から引き落とされます。」

という自動車保険の支払保険料の加算保険料を算定する総ポイント値と、それに対する金額を提示するメッセージ画面が送信されてくる。この図26に示す如き総ポイント値を提示するメッセージ画面において、減点ポイントの詳細を知りたいときは、図26に示されるメッセージ画面において「詳細」を選択（クリック）する。図26に示されるメッセージ画面において「詳細」が選択（クリック）されると、保険サービス提供会社20からは、保険利用会員30（車載機器40

）に対して、図27に示す如く、

「貴方の今月の運転能力減点ポイントは、
次の通りです。

①スピード違反	5
②急ブレーキ使用	2
③急ハンドル使用	1
④急加速	0
⑤蛇行運転	4

貴方の今月の安全運転減点ポイントは、
次の通りです。

①事故	0
②交通違反	1
③定期点検不実施	6
④長時間連続運転	3

合計ポイント数 22 」

という自動車保険の支払保険料の加算保険料を算定する総ポイント値の詳細メッセージ画面が送信されてくる。この図27に示されるメッセージ画面において「戻る」を選択（クリック）すると、図26に示されるメッセージ画面に戻る。そして、この図27に示されるメッセージ画面において「了解」を選択（クリック）すると、保険利用会員30（車載機器40）が保険サービス提供会社20から提示された減点ポイント数を了解したことが保険サービス提供会社20に送信される。この保険利用会員30（車載機器40）による減点ポイント数の了解は、ステップ616において、保険サービス提供会社20で受信される。

【0070】

このステップ616において保険サービス提供会社20において保険利用会員30（車載機器40）による減点ポイント数の了解が受信されると、保険サービス提供会社20は、ステップ618において、一定期間毎（例えば、1ヶ月、3ヶ月等）に積算した積算ポイント値に基づく加算保険料の提示を保険利用会員30（車載機器40）に行い、ステップ620において、保険利用会員30（車載

機器 40) に加算保険料の支払請求を行う。このステップ 620 において、保険利用会員 30 (車載機器 40) に加算保険料の支払請求が行われると、ステップ 622 において、保険サービス提供会社 20 は、保険利用会員 30 (車載機器 40) に対し、保険サービス提供会社 20 が請求した加算保険料を運転能力保証料・安全運転確約料から引き落とすことを通知する。このステップ 622 において加算保険料を運転能力保証料・安全運転確約料から引き落とすことを通知し、保険利用会員 30 (車載機器 40) が、これを了解すると、ステップ 624 において、保険サービス提供会社 20 は、保険利用会員 30 (車載機器 40) から加算保険料の支払を運転能力保証料・安全運転確約料から行うことに対する了解を受領する。

【0071】

このステップ 624 において保険利用会員 30 (車載機器 40) から加算保険料の支払を運転能力保証料・安全運転確約料から行うことの了解を受領すると、ステップ 626 において、保険サービス提供会社 20 は、加算保険料を、基本保険料と、運転能力保証料・安全運転確約料とに仕分けした保険サービス提供会社 20 で保険利用会員 30 が支払った支払保険料の内の運転能力保証料・安全運転確約料から引き落としを行う。このステップ 626 において加算保険料の運転能力保証料・安全運転確約料から引き落としを行うと、ステップ 628 において、保険サービス提供会社 20 は、保険利用会員 30 (車載機器 40) に対し、加算保険料を運転能力保証料・安全運転確約料から引き落としたことを通知する。このステップ 628 において加算保険料を運転能力保証料・安全運転確約料から引き落としたことを保険利用会員 30 (車載機器 40) に通知すると、ステップ 630 において、保険サービス提供会社 20 は、一定期間 (例えば、1 ヶ月、3 ヶ月等) の保険料 (支払保険料) を受け取り、この処理フローを終了する。

【0072】

なお、図 12 に図示のフローチャートにおいて、ステップ 612 での自動車保険の支払保険料の加算保険料を算定する総ポイント値と、それに対する金額を提示するメッセージ画面においては、総ポイント値に相当する金額が運転能力保証料・安全運転確約料から引き落とされるようになっているが、図 28 に示す如く

「貴方の〇〇月の運転能力保証料・安全

運転確約料の総合計ポイント数は

〇〇〇ポイント

です。△△円／1ポイントで計算します

と貴方の〇〇月の総合計金額は、

〇〇〇円

となり、この金額は基本保険料に加算

されます。」

という自動車保険の支払保険料の加算保険料を算定する総ポイント値と、それに対する金額を提示するメッセージ画面を送信するようにしてもよい。この図28に示されるメッセージ画面では、運転能力、安全運転についてのポイント値が基本保険料に上乗せされる手法となっている。この図28に示す如き総ポイント値を提示するメッセージ画面において、減点ポイントの詳細を知りたいときは、図26に示されるメッセージ画面の場合同様、「詳細」を選択（クリック）する。すると、図27に示す如きメッセージ画面が示される。この後のステップ614～ステップ630までの処理は、前述と同様である。

【0073】

【発明の効果】

以上説明したように本発明に係る自動車保険の内容設定システムによれば、保険加入者の運転能力に応じて適正な保険内容を設定し、保険加入者の運転能力に応じた適正な保険料を設定することができる。

【0074】

また、本発明に係る自動車保険の内容設定システムによれば、保険加入者の乗車する車両の運転条件に応じて適正な保険内容を設定し、保険加入者の乗車する車両の運転条件に応じた適正な保険料を設定することができる。

【0075】

また、本発明に係る自動車保険の料金設定システムによれば、保険加入者の乗車する車両の運転状況に応じて適正な保険料を設定することができる。

【0076】

さらに、本発明に係る自動車保険の料金徴収システムによれば、保険加入者の乗車する車両の運転状況に応じて適正に保険料の徴収を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

自動車保険の内容設定システムを実施するための全体構成および情報の送受信関係を示す図である。

【図2】

保険利用会員の端末機器を用いて実行する場合の本発明の実施の形態を示す自動車保険の内容設定システム構成図である。

【図3】

保険利用会員の自動車端末機器（車載機器）を用いて実行する場合の本発明の実施の形態を示す自動車保険の内容設定システム、自動車保険の料金設定システム、自動車保険の料金徴収システムの構成図である。

【図4】

保険利用会員の自動車端末機器（車載機器）を用いて実行する場合の本発明の実施の形態を示す自動車保険の内容設定システム、自動車保険の料金設定システム、自動車保険の料金徴収システムの構成図である。

【図5】

保険利用会員の自動車端末機器（車載機器）を用いて実行する場合の本発明の実施の形態を示す自動車保険の内容設定システム、自動車保険の料金設定システム、自動車保険の料金徴収システムの構成図である。

【図6】

保険利用会員の自動車端末機器（車載機器）を用いて実行する場合の本発明の実施の形態を示す自動車保険の内容設定システム、自動車保険の料金設定システム、自動車保険の料金徴収システムの構成図である。

【図7】

保険利用会員の自動車端末機器（車載機器）を用いて実行する場合の本発明の実施の形態を示す自動車保険の内容設定システム、自動車保険の料金設定シス

ム、自動車保険の料金徴収システムの構成図である。

【図8】

保険利用会員が所有する自動車の車載機器の構成図である。

【図9】

保険利用会員の会員登録を行う場合の保険利用会員側と保険サービス提供会社側の通信状態を示す処理フローチャートである。

【図10】

保険利用会員が自動車保険に加入する場合の保険利用会員側の処理フローチャートである。

【図11】

保険利用会員が自動車保険に加入する場合の保険サービス提供会社側の処理フローチャートである。

【図12】

保険利用会員と自動車保険の契約を締結した保険サービス提供会社の自動車保険の保険料の徴収の処理フローチャートである。

【図13】

保険利用者の会員登録申込みの処理画面を示す図である。

【図14】

保険利用者の会員登録の申込時の個人情報の入力処理画面を示す図である。

【図15】

保険利用者の会員登録通知の処理画面を示す図である。

【図16】

保険利用会員が自動車保険を申込んだ際の確認の処理画面を示す図である。

【図17】

保険利用会員が自動車保険に加入する車両情報を入力処理画面を示す図である。

【図18】

保険利用会員が加入する自動車保険を特定する自動車保険の内容入力処理画面を示す図である。

【図 19】

保険利用会員の運転能力の入力処理画面を示す図である。

【図 20】

保険利用会員の運転条件の入力処理画面を示す図である。

【図 21】

自動車保険の支払保険料の総合計金額の提示画面を示す図である。

【図 22】

図 21 に図示の減点ポイント値の詳細画面を示す図である。

【図 23】

自動車保険の支払保険料の総合計金額の別な提示画面を示す図である。

【図 24】

自動車保険の保険料支払いを催促するための表示画面を示す図である。

【図 25】

自動車保険の保険締結完了の表示画面を示す図である。

【図 26】

自動車保険の支払保険料の加算保険料を算定する総ポイント値と、それに対する金額を提示するための表示画面を示す図である。

【図 27】

図 26 に図示の減点ポイントの詳細を示す表示画面である。

【図 28】

自動車保険の支払保険料の加算保険料を算定する総ポイント値と、それに対する金額を提示するための別な表示画面を示す図である。

【図 29】

保険サービス提供会社の処理装置の構成図である。

【図 30】

保険利用会員の会員登録カードを示す図である。

【符号の説明】

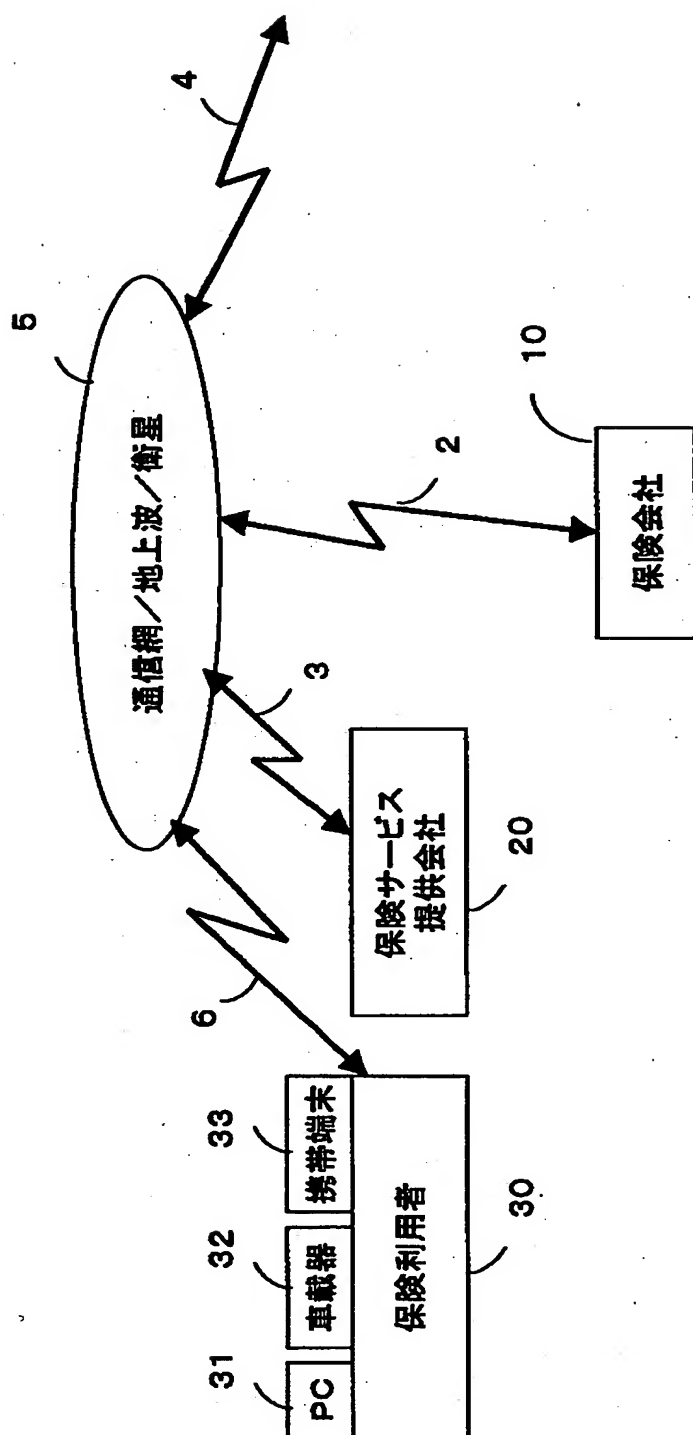
10 保険会社

20 保険サービス提供会社

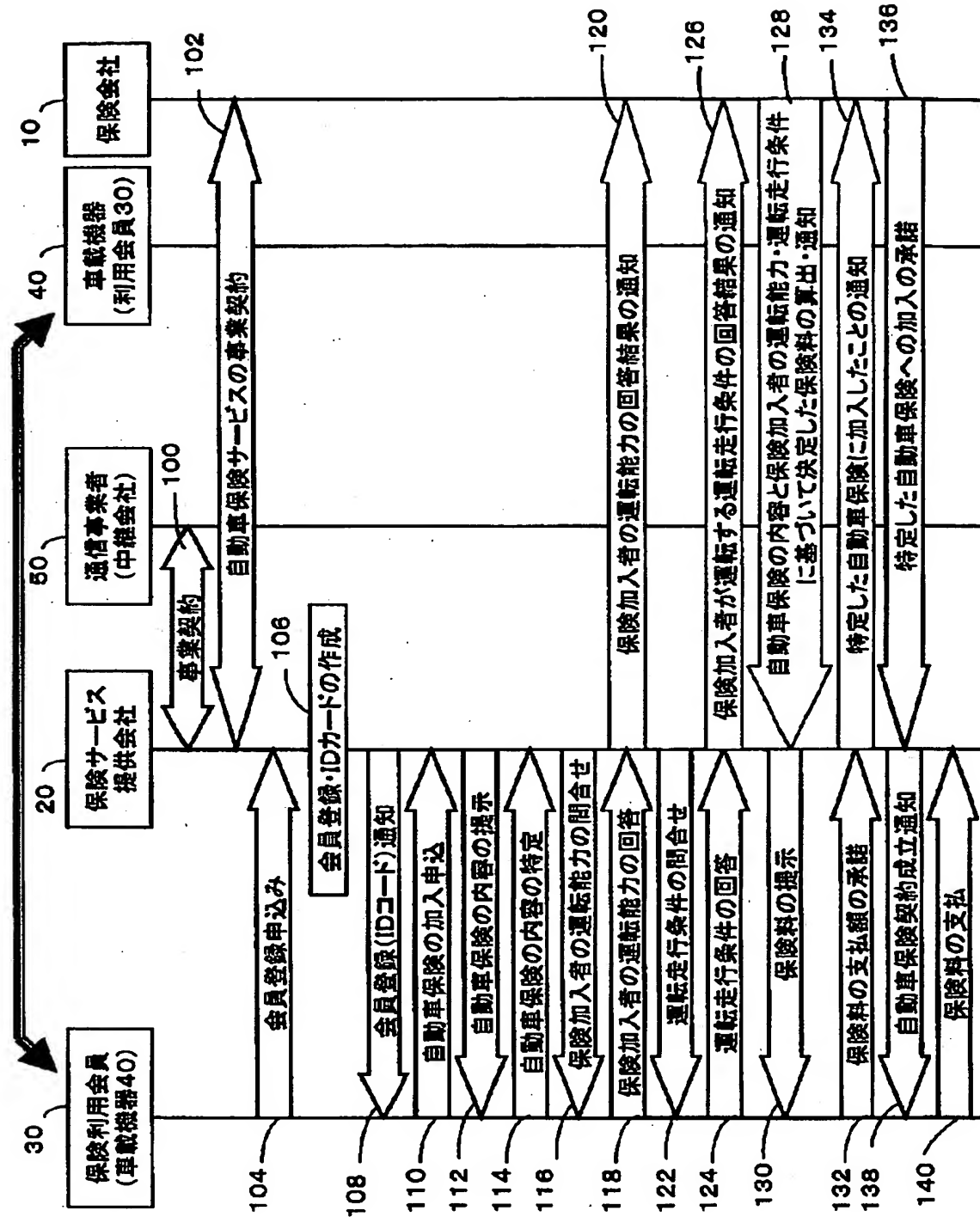
30保険利用会員
40車載機器
50通信事業者

【書類名】 図 面

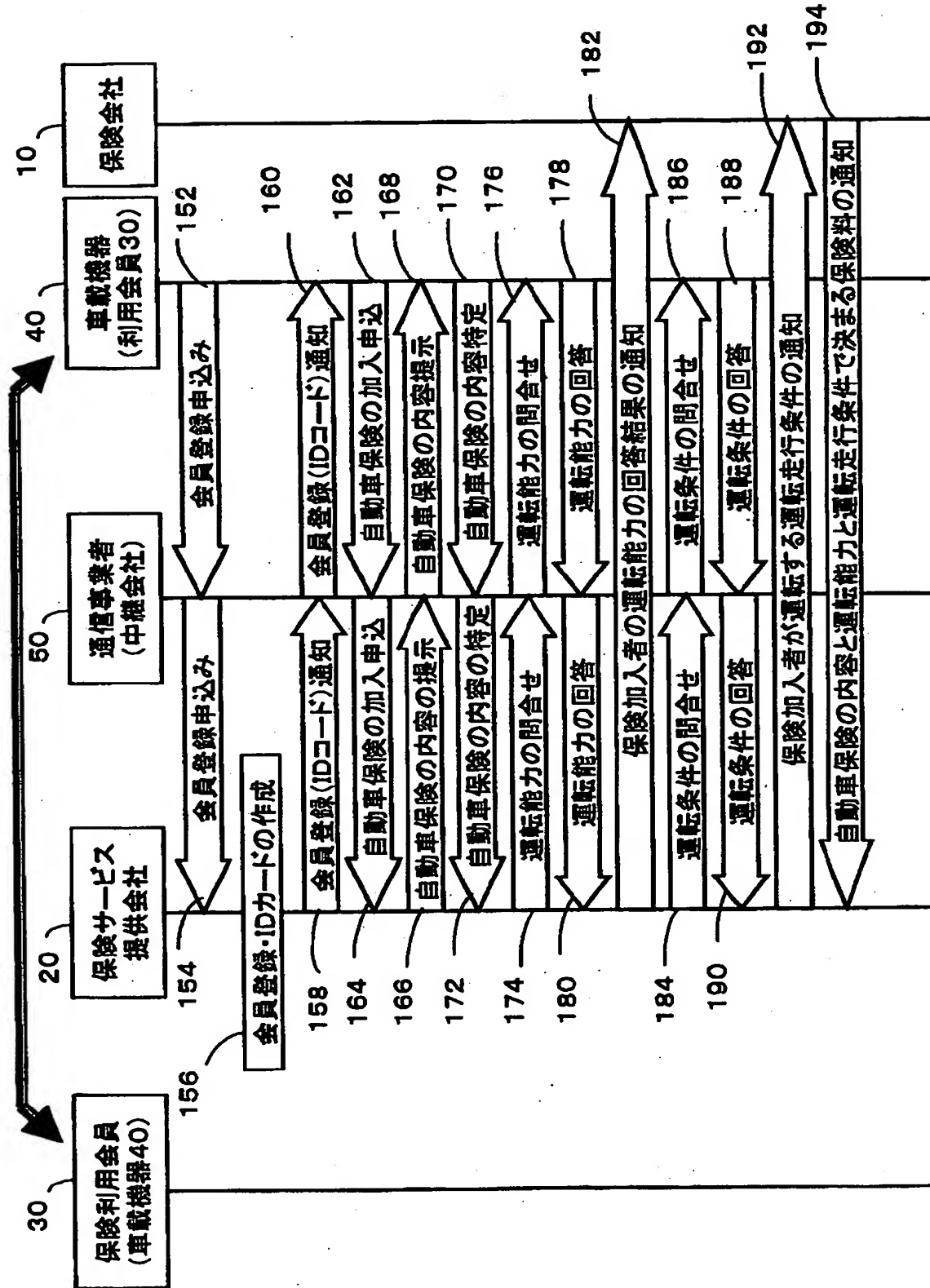
【図 1】



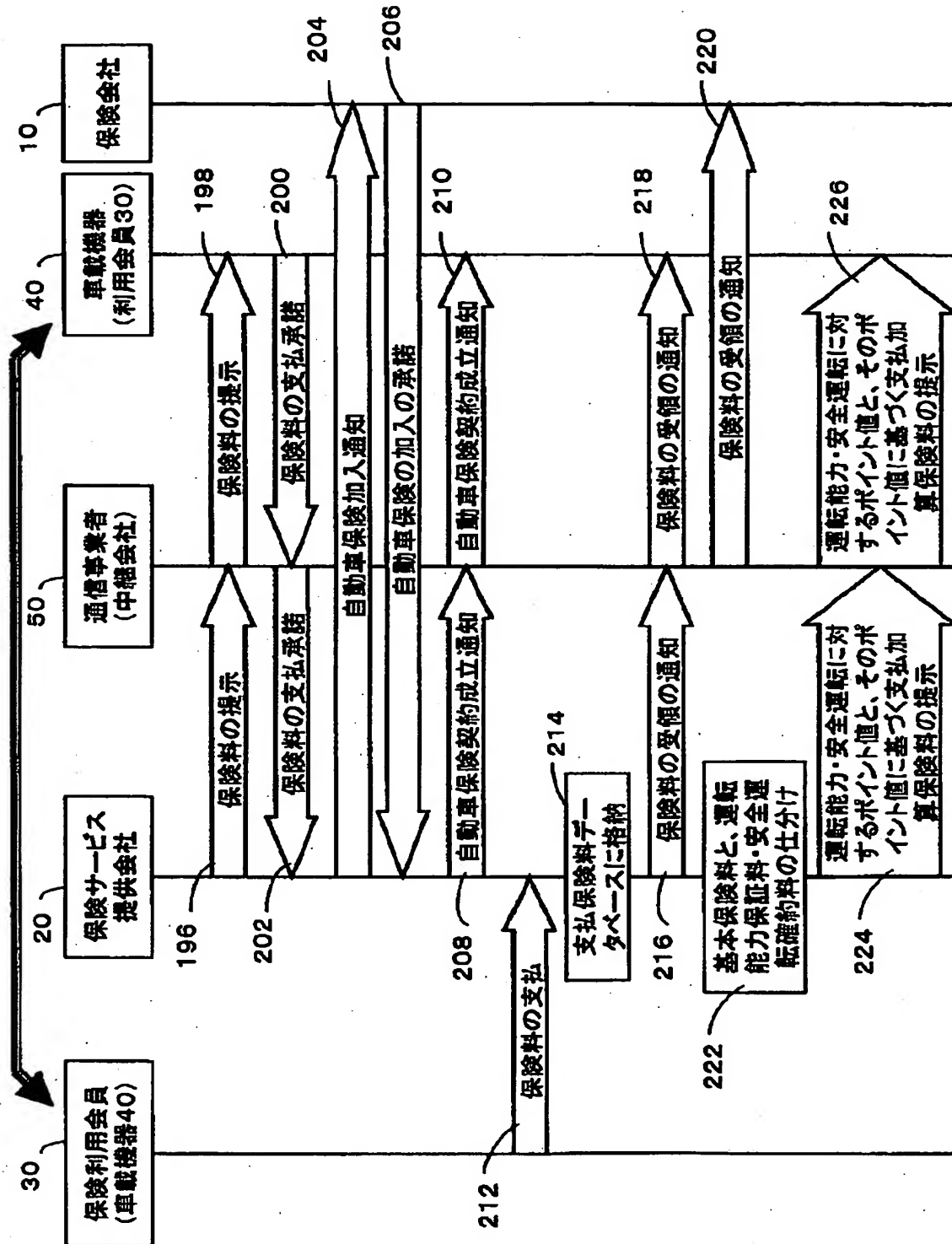
【図2】



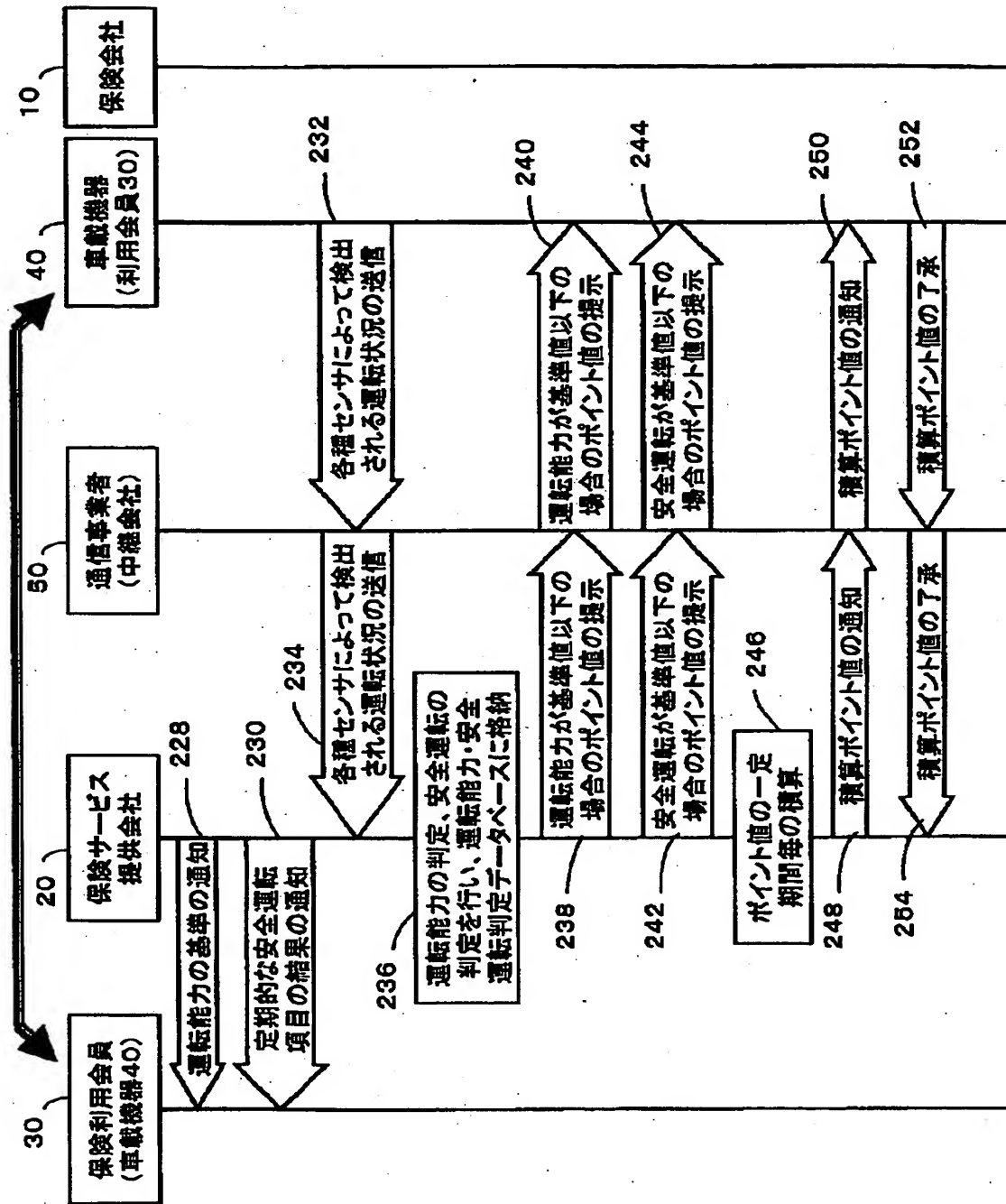
【図 3】



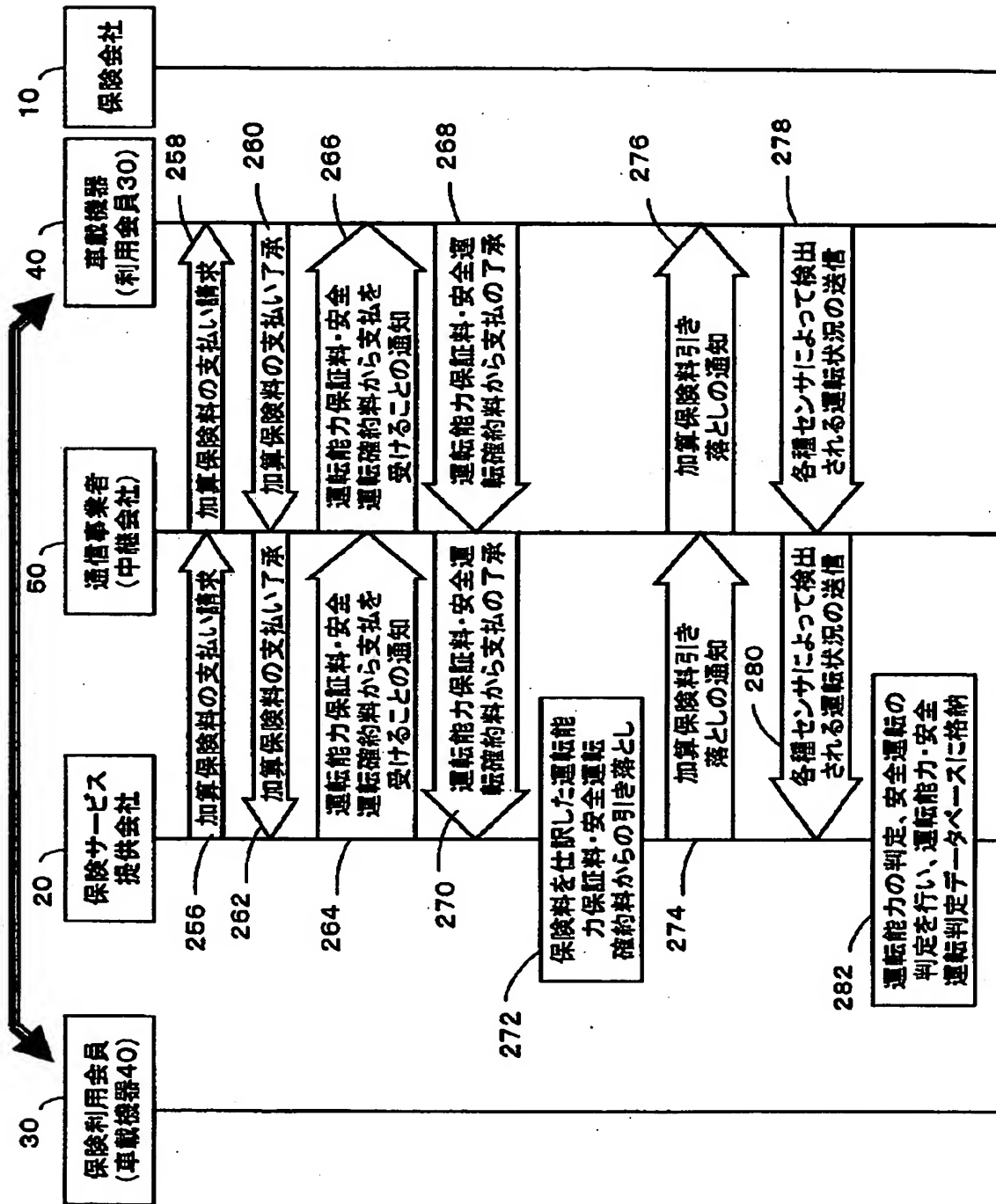
【図4】



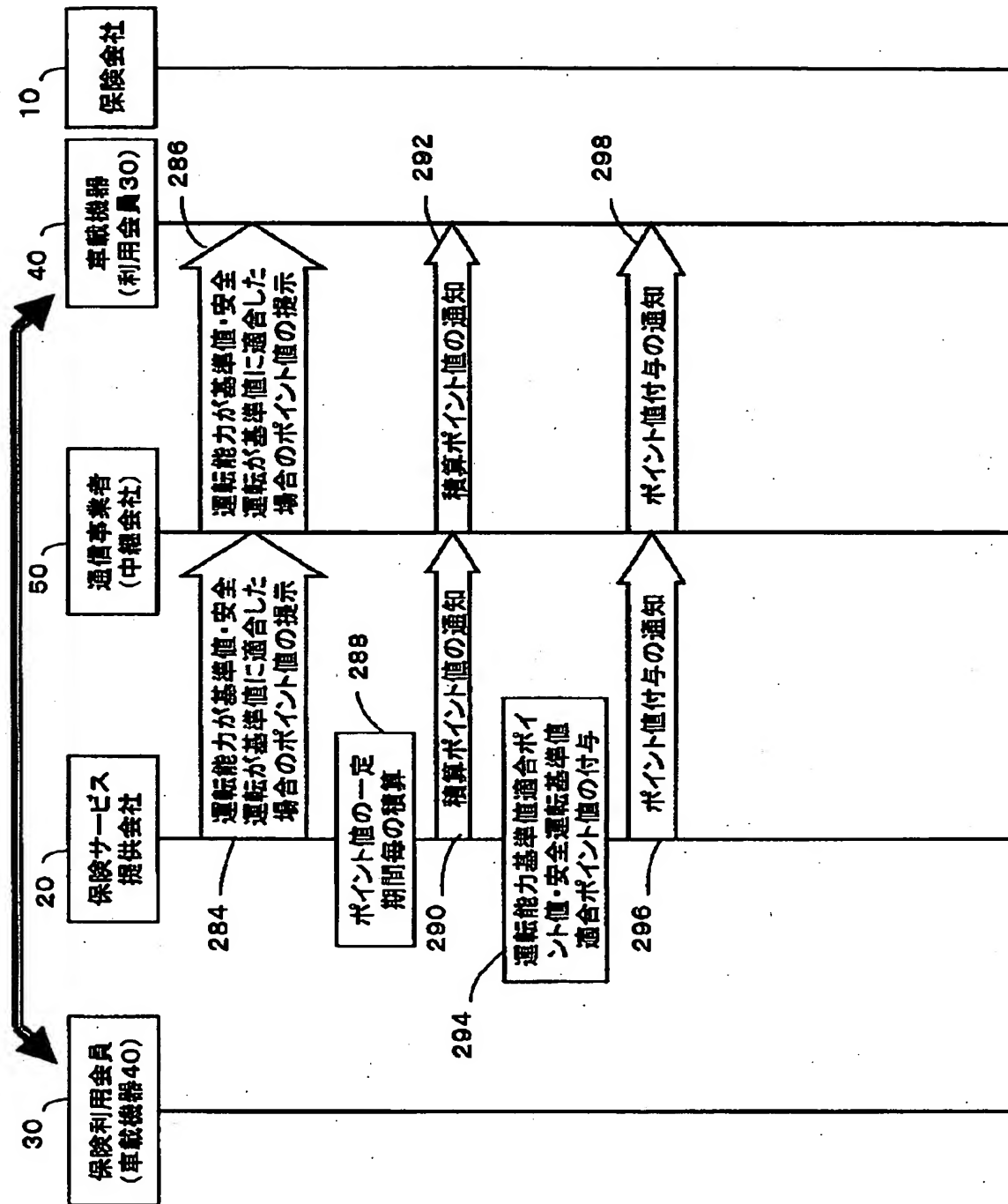
【図5】



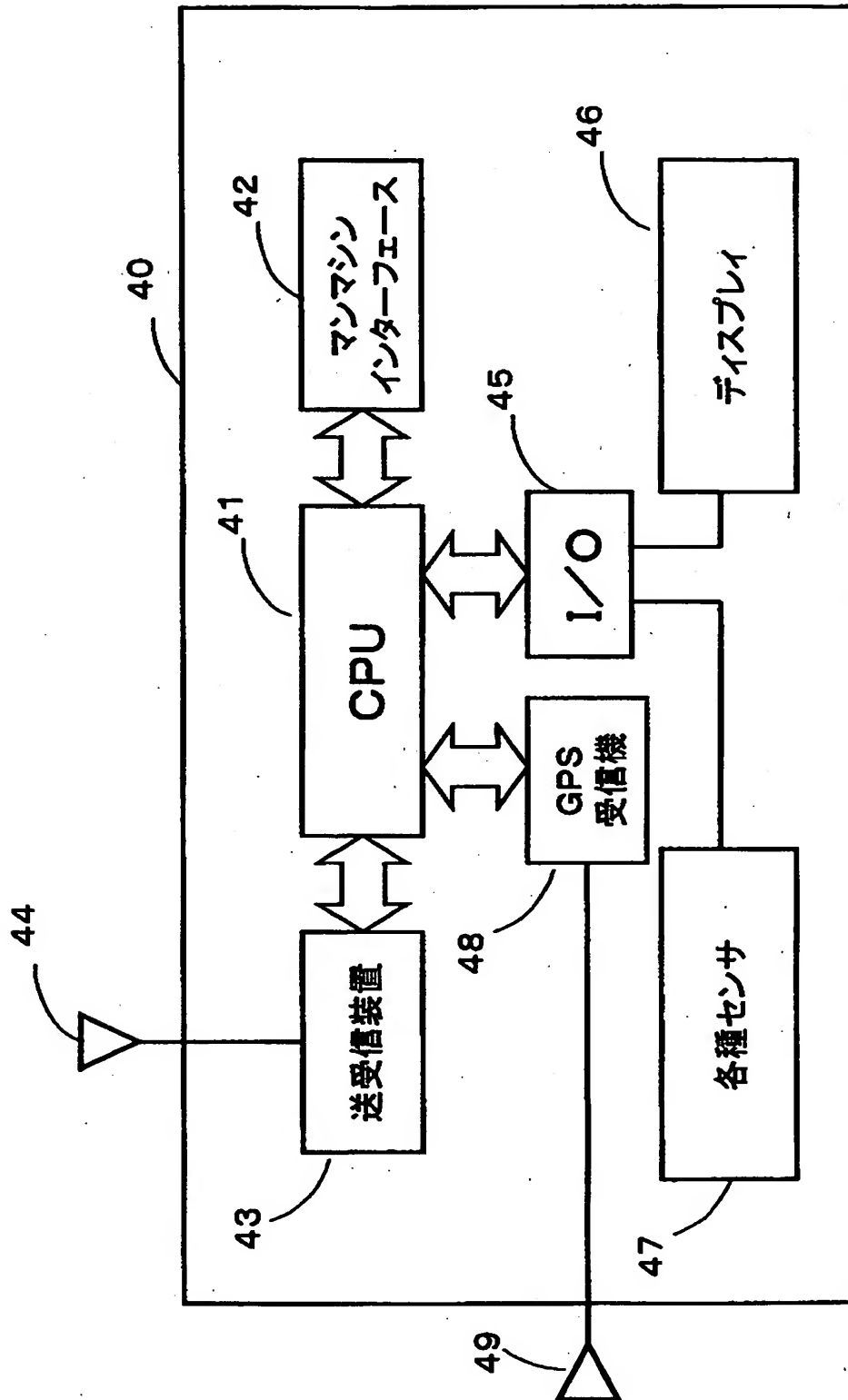
【図6】



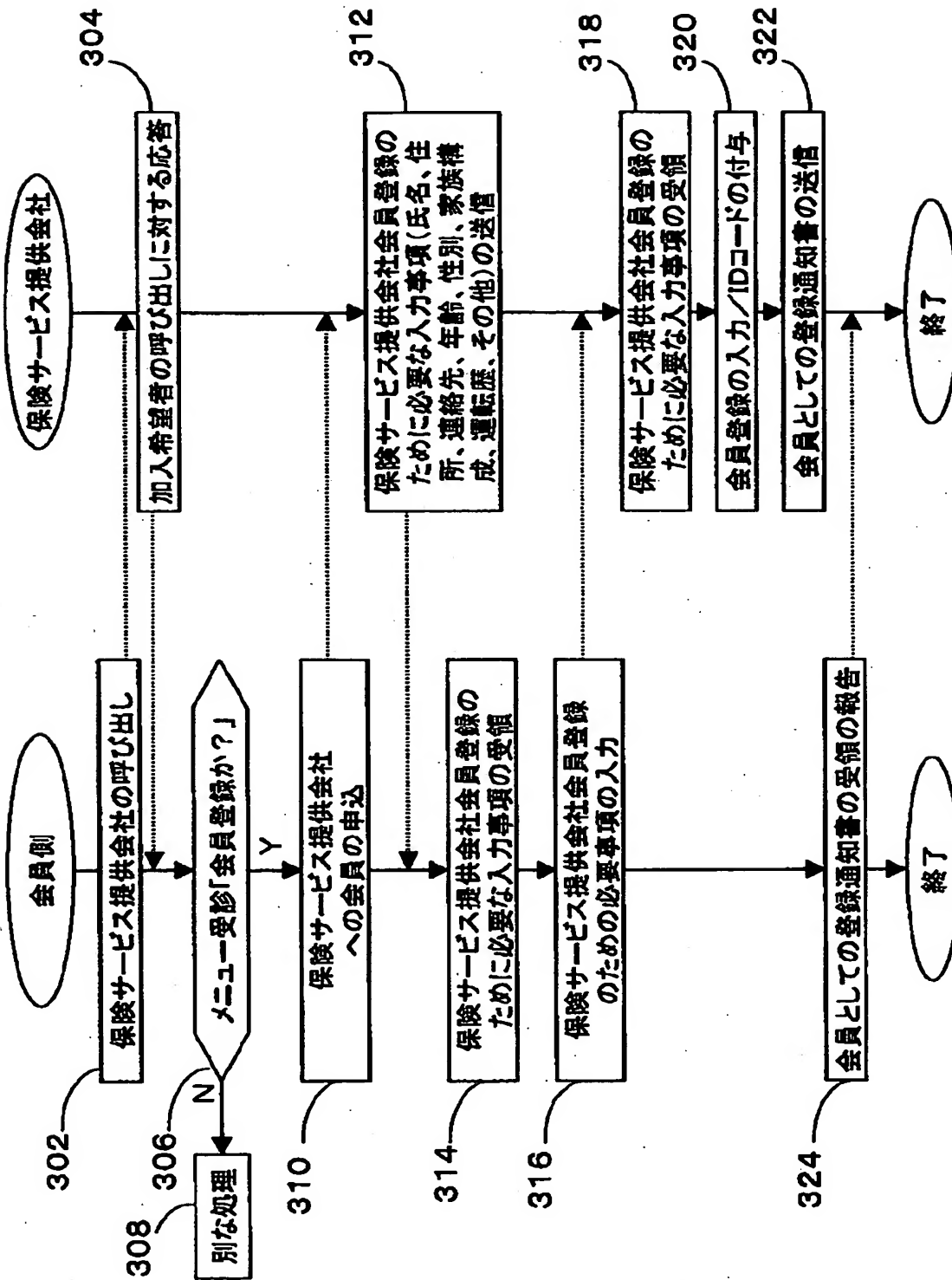
【図7】



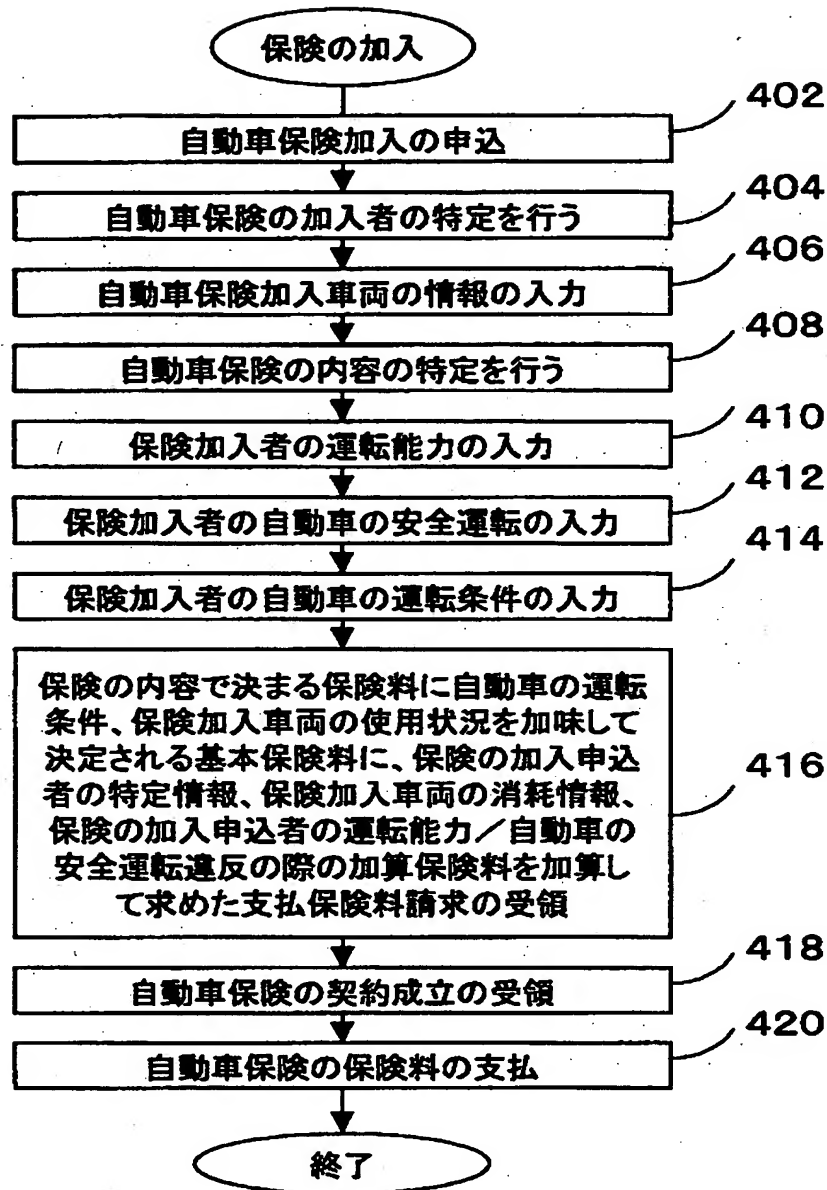
【図 8】



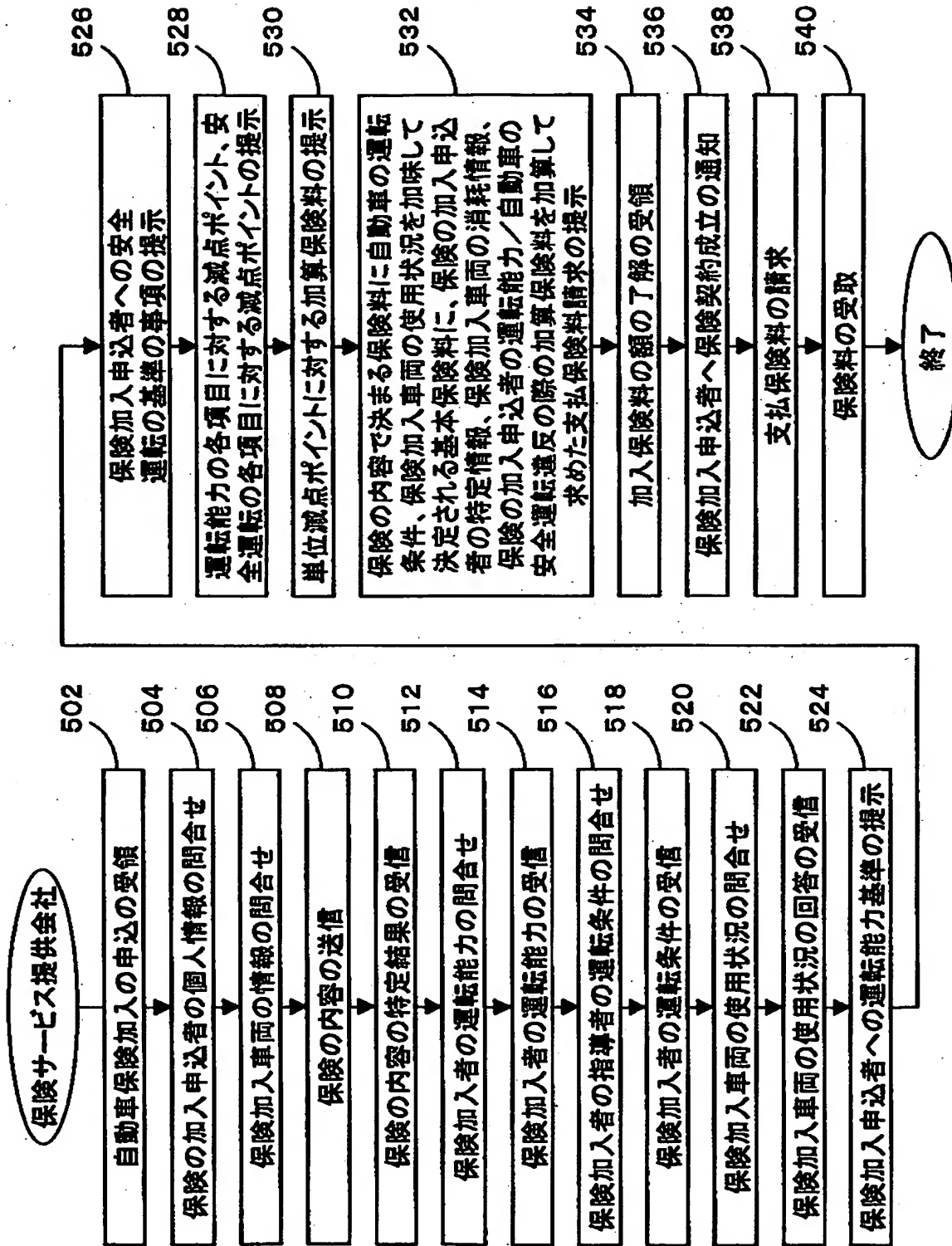
【図 9】



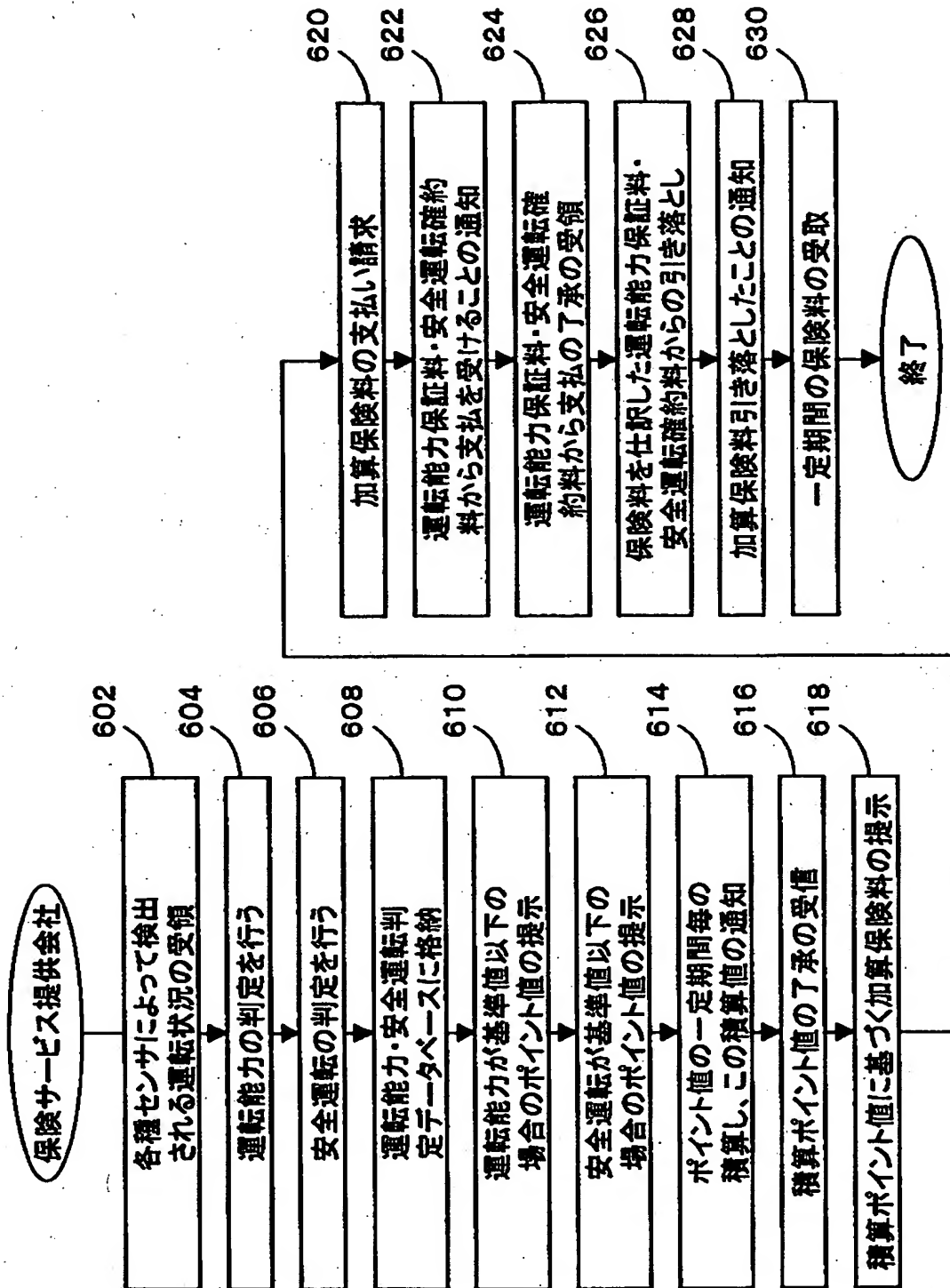
【図10】



【図 11】



【図12】



【図13】

〇〇保険株式会社

新規会員登録ですか

YES NO

【図14】

次の事項を入力して下さい。

1. 氏名
2. 住所
3. 生年月日／年齢／性別
4. 電話番号
5. 家族構成
6. 運転歴(免許証取得年月)
7. その他

次へ

【図15】

A screenshot of a computer screen showing a confirmation message. The message is enclosed in a rectangular box. Below the message, there is a button labeled '了解' (Understood).

会員として登録されました。
貴方の会員番号とIDコードは次のとおりです。

会員番号: ○○○○○○
IDコード: △△△△

了解

【図16】

A screenshot of a computer screen showing a question. The question is enclosed in a rectangular box. Above the box, the company name '○○保険株式会社' is displayed. Below the box, there are two buttons labeled 'YES' and 'NO'.

○○保険株式会社

自動車保険の加入ですか

YES NO

【図17】

次の事項を入力して下さい。

1. メーカー名
2. 車種
3. グレード
4. タイプ
5. 排気量
6. 初年度登録年月
7. 登録番号
8. 総走行距離
9. その他

次へ

【図18】

**加入を希望する自動車保険の内容
を入力して下さい。**

1. 対人賠償
 - ☐ 無制限
 - ☐ 〇〇〇〇万円
2. 対物賠償
 - ☐ 〇〇〇万円まで
 - ☐ 〇〇万円
 ~〇〇〇万円
3. 自己賠償
 - ☐ 〇〇〇万円まで
 - ☐ 〇〇万円
 ~〇〇〇万円
4. 同乗者賠償
 - ☐ 無制限
 - ☐ 〇〇〇〇万円
5. 運転者特定
 - ☐ 有り ☐ 無し
6. 運転者年齢制限
 - ☐ 無制限
 - ☐ 30歳以上

次へ

【図19】

次の事項を入力して下さい。

1. 事故歴
2. 交通違反歴
3. スピード違反歴
4. 急ブレーキ使用率
5. 急ハンドル使用率
6. その他

次へ

【図20】

次の事項を入力して下さい。

1. 修理歴
2. 定期点検実施率
3. 整備状態
4. 製造年月
5. 多走行地域
6. その他

次へ

【図21】

貴方の加入する自動車保険の支払保険料の総合計は、基本保険料が

〇〇〇〇円

運転能力保証料・安全運転確約料が

〇〇〇〇円

となり、貴方が申告した運転能力が保証されない場合、安全運転がなされない場合は、その都度ポイント値が加算され、毎月、ポイント値に相当する金額が運転能力保証料・安全運転確約料から引き落とされます。

したがって、貴方は当初総額で

〇〇〇〇〇円

の保険料を支払うことになります。

各項目に対するポイント値の詳細を確認しますか？

YES

NO

【図22】

**貴方の運転能力の各項目に対する
減点ポイントは、次の通りです。**

①スピード違反	1
②急ブレーキ使用	0.5
③急ハンドル使用	1
④急加速	0.5
⑤蛇行運転	0.5

**貴方の安全運転の各項目に対する
減点ポイントは、次の通りです。**

①事故	2
②交通違反	1
③定期点検不実施	0.5
④長時間連続運転	0.2

契約を締結しますか？

了解
取消

【図 23】

貴方の加入する自動車保険の支払保険料の総合計は、

〇〇〇〇〇円

で、その内訳は、基本保険料が
〇〇〇〇円
運転能力保証料・安全運転確約料が
〇〇〇〇円
になります。この運転能力保証料・安全運転確約料は、貴方が申告した運転能力が保証され、安全運転が確保される場合は、保険期間終了時に貴方に返還されます。

契約を締結しますか？

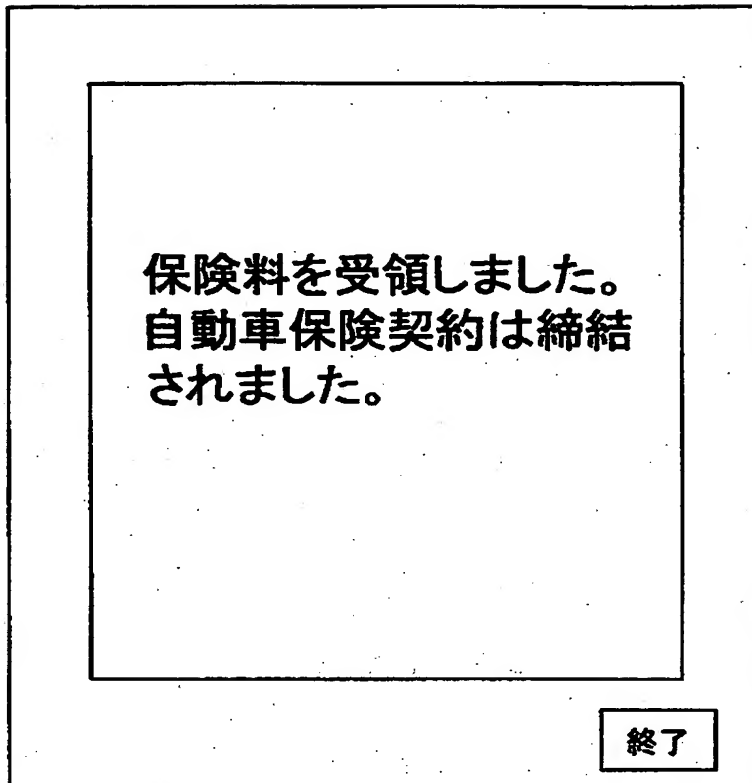
☐ YES ☐ NO

【図24】

保険料をお支払い下さい。

YES NO

【図25】



【図26】

貴方の〇〇月の運転能力保証料・安全
運転確約料の総合計ポイント数は
〇〇〇ポイント
です。△△円 / 1ポイントで計算します
と貴方の〇〇月の総合計金額は、
〇〇〇円
となり、この金額が運転能力保証料・安
全運転確約料から引き落とされます。

【図27】

貴方の今月の運転能力減点ポイントは、次の通りです。	
①スピード違反	5
②急ブレーキ使用	2
③急ハンドル使用	1
④急加速	0
⑤蛇行運転	4
貴方の今月の安全運転減点ポイントは、次の通りです。	
①事故	0
②交通違反	1
③定期点検不実施	6
④長時間連続運転	3
合計ポイント数	22
<input type="button" value="戻る"/>	<input type="button" value="了解"/>

【図28】

貴方の〇〇月の運転能力保証料・安全
運転確約料の総合計ポイント数は

〇〇〇ポイント

です。△△円 / 1ポイントで計算します
と貴方の〇〇月の総合計金額は、

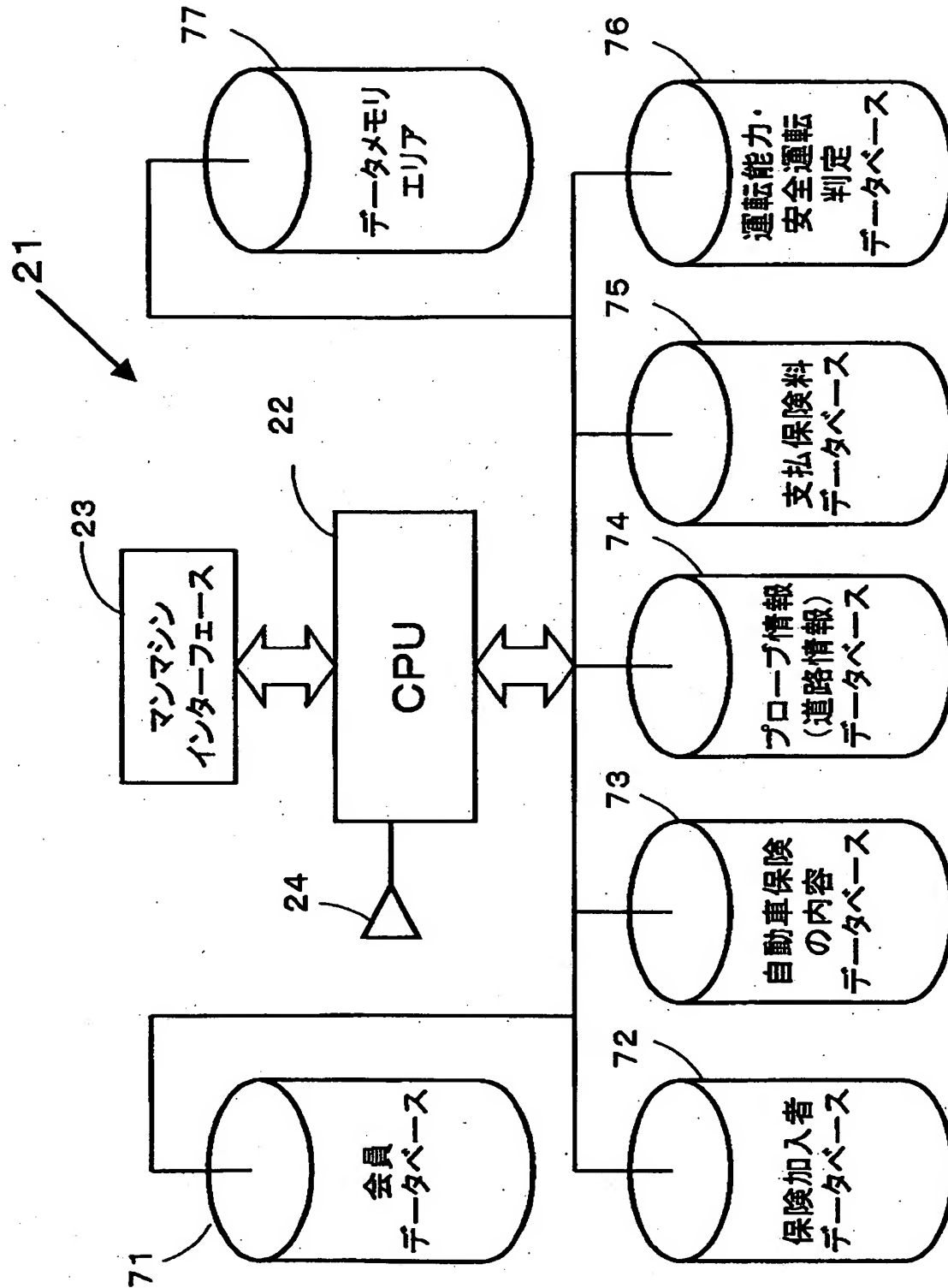
〇〇〇円

となり、この金額は基本保険料に加算
されます。

詳細

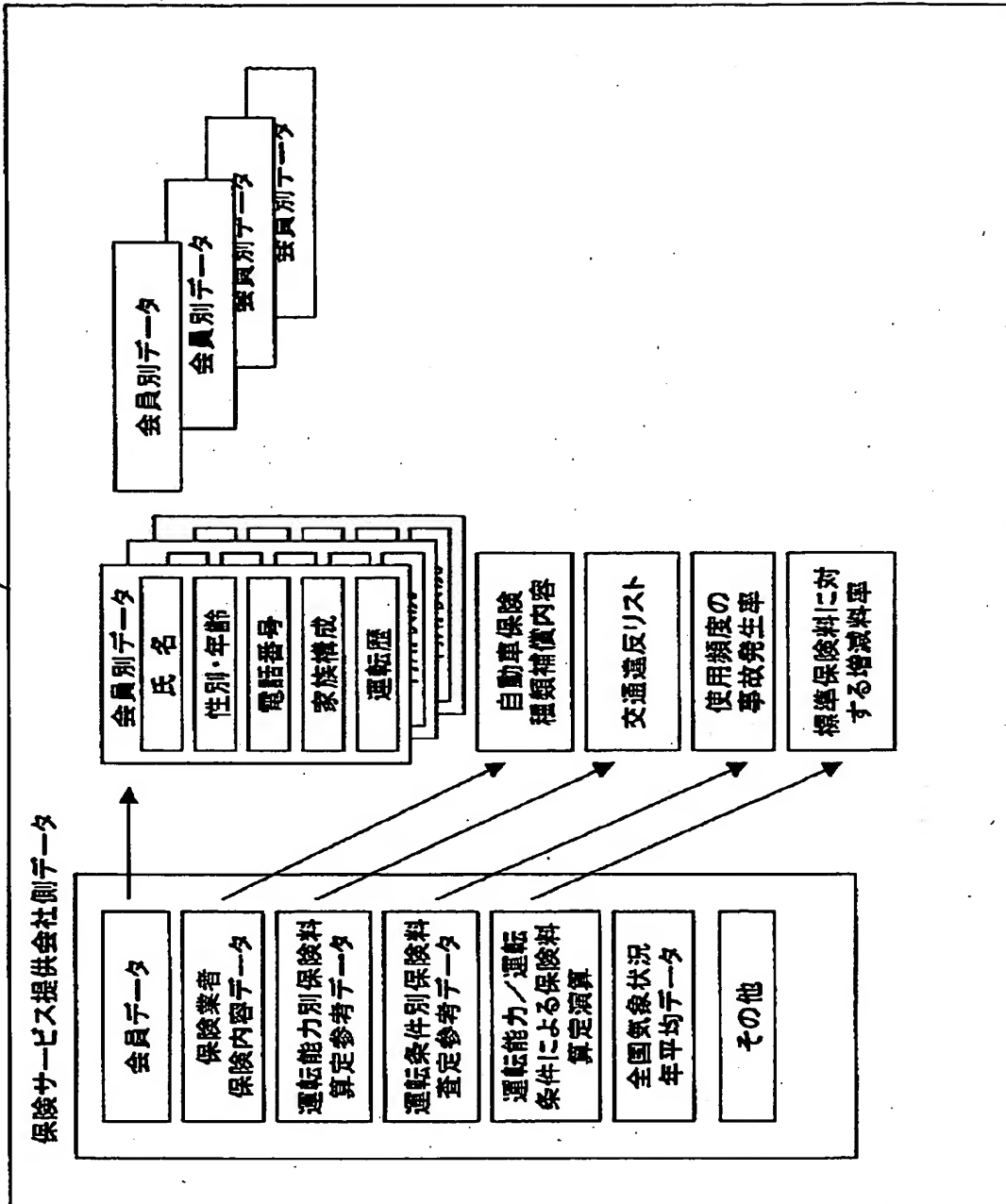
了解

【図 29】



【図30】

60



【書類名】 要 約 書

【要約】

【課題】 保険加入者の乗車する車両の運転状況に応じて適正な保険料を設定することのできる自動車保険の料金設定システムを提供すること。

【解決手段】 保険加入者が保険の対象項目と保険の補償内容とを特定して行った自動車保険の加入申込に基づいて、保険の補償内容によって一律に決定される基本保険料を算定し、保険加入者の運転能力の提示を求め、保険加入者から提示された運転能力を基に加算保険料を算定して、前記基本保険料と前記加算保険料を合算して支払保険料として一旦徴収し、予め保険加入者から提示された運転能力を基準に提示内容に違反して運転した場合の運転能力ポイントと、予め提示した安全運転基準に違反した違反行為があった場合の安全運転ポイントとを算定して、運転能力ポイントと安全運転ポイントを合算した減点ポイントに相当する料金を加算保険料として積算し、保険満了時に精算するようにする。

【選択図】 図 1 0

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2001-269821
受付番号	50101308792
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成13年 9月11日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成13年 9月 6日

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005108]

1. 変更年月日 1990年 8月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
氏 名 株式会社日立製作所